取扱説明書

液晶プロジェクター

CP-X8170J
CP-WX8265J
CP-WU8460J

（形名：CP-X8170/CP-WX8265/CP-WU8460）

【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節を行うメニューについて説明します。

⚠警 告 ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

設定・調節…… 2 - 2
- メニュー機能の使い方…… 2 - 2
- 簡単メニュー…… 2 - 4
- 映像メニュー…… 2 - 6
- 表示メニュー…… 2 - 9
- 入力メニュー…… 2 - 12
- 設置メニュー…… 2 - 16
- オーディオメニュー…… 2 - 19
- スクリーンメニュー…… 2 - 20
- その他メニュー…… 2 - 25
- ネットワークメニュー…… 2 - 36
- セキュリティメニュー…… 2 - 45

2 画面表示 …… 2 - 51

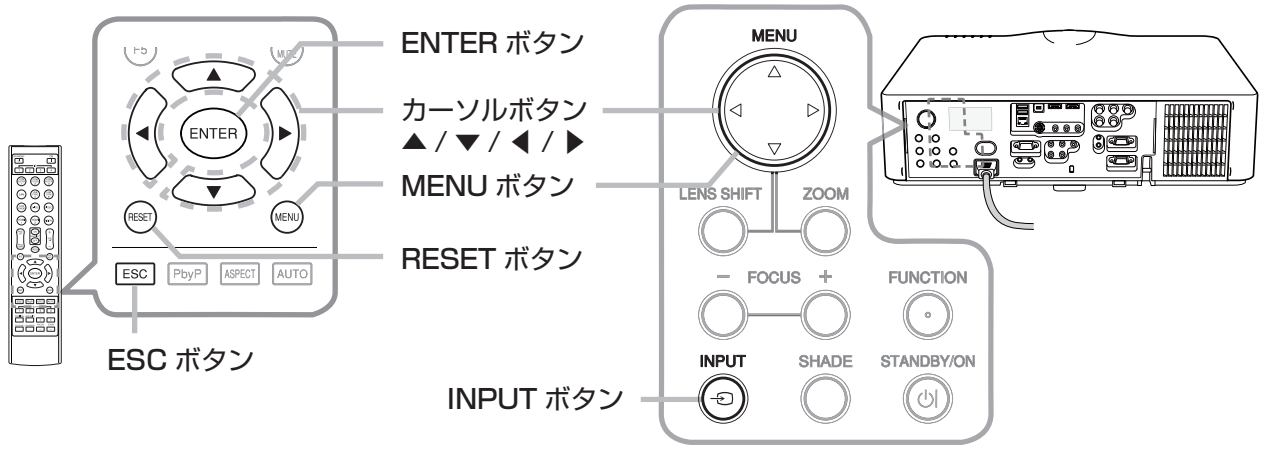
プレゼンテーションツール…… 2 - 54
- PC レス プレゼンテーション…… 2 - 54
- USB ディスプレイ …… 2 - 63

簡易スタック…… 2 - 66
- はじめに…… 2 - 66
- 準備…… 2 - 68
- 設置 …… 2 - 69
- スタックメニュー設定…… 2 - 76
- ケーブルを接続する…… 2 - 85
- メニューを使って入力端子の設定をする… 2 - 87
- スケジュール機能の制限について…… 2 - 92
- 故障かなと思ったら …… 2 - 94

設定・調節

メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。
本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、「詳細メニュー」があります。詳細メニューは、**「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」**の９つの機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



メニューの表示と操作ボタン

本機のメニュー操作には、主に上図のボタンを使用します。操作パネルの **MENU** ボタン (カーソルボタン▲ / ▼ /◀ /▶) は、各々カーソルボタンとしてご使用いただけます。また、**INPUT** ボタンは多くの場合に **ENTER** ボタンと同様にご使用いただけます。
はじめに操作パネルの **MENU** ボタンのいずれか、またはリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていた方のメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。メニューでは、現在選択されている項目が橙色の反転表示（または枠) でカーソル表示されます。
メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの **MENU** ボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀ または **ENTER**ボタンを押します。また、なにも操作しない状態が約 30秒間続くと、自動的に終了します。

お知らせ

●メニュー表示中に **POSITION** ボタンを押すと、カーソルボタン◀ / ▶ / ▲ / ▼ でメニューの表示位置を調節することができます。

メニューの操作

■簡単メニューの操作

1．カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。

2．カーソルボタン◀/▶で、選択した項目の設定、調節および実行することができます。

簡単メニュー

■詳細メニューの操作

1．カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。

2．カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲/▼で選択してください。

3．カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。画面表示に従って操作してください。

詳細メニュー

■メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について

表示	動作
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。 **MENU** ボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない／いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK ／はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

お知らせ

- 受信信号によっては、実行できない機能があります。
- メニューの操作にどのボタンを使用するかは、メニューおよびダイアログの右上または底部、カーソル表示の左右などにも表示されますので、操作の際にご参照ください。
- 操作中の項目を元に戻したいときには、**RESET** ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（「表示言語」、「音量」など）はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。

簡単メニュー

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
アスペクト（画面の縦横比）	カーソルボタン◀ / ▶で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。 詳細は、「表示」メニューの「アスペクト」(📖**2-9**) をご参照ください。
オートキーストン（垂直）	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、垂直キーストン（ ⏢ 方向の台形ひずみ）補正を自動調整します。 詳細は、「設置」メニューの「オートキーストン（垂直）」(📖**2-16**) をご参照ください。
⏢ キーストン	カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストンの補正量を調節できます。 詳細は、「設置」メニューの「 ⏢ キーストン」(📖**2-16**) をご参照ください。
⏤ キーストン	カーソルボタン◀ / ▶で、水平キーストン（ ⏤ 方向の台形ひずみ）の補正量を調節できます。 詳細は、「設置」メニューの「 ⏤ キーストン」(📖**2-16**) をご参照ください。
コーナーフィット	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「コーナーフィット」ダイアログを表示し、画面の四隅の位置と四辺のたわみを調節することができます。詳細は、「画面のひずみを補正する」(📖**1-45**) をご参照ください。
映像モード	カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。 **ノーマル ↔ シネマ ↔ ダイナミック ↔ 黒板（黒）↔ 黒板（緑）** **↳ DICOM SIM. ↔ デイタイム ↔ ホワイトボード ↵**

映像モード	ガンマ	色温度	内容
ノーマル	デフォルト-1	高	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。
シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。
ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。
黒板（黒）	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板 (黒) に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。
黒板 (緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板 (緑) に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。
ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。
デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。
DICOM SIM.	デフォルト-7	中	X 線写真等の、医療用画像を表示するのに適しています。

お知らせ

- ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。「映像」メニューの「ガンマ」(📖**2-6**) および「色温度」(📖**2-7**) をご参照ください。
- 映像モードを選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。
- 「DICOM SIM.」は、本機における、DICOM® (Digital Imaging and Communication in Medicine) 近似表示モードです。このモードは DICOM 規格での規定に近似して表示します。本機は医療用機器ではなく、また、DICOM 規格に準拠しておりませんので、実際の診断などの医療行為にはご利用頂けません。

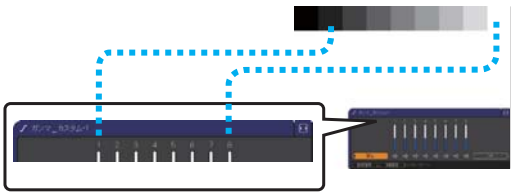
 （次ページにつづく）

設定項目	操作内容
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。 詳細は、「設置」メニューの「エコモード」（🕮2-17）をご参照ください。
設置方法	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。 詳細は、「設置」メニューの「設置方法」（🕮2-17）をご参照ください。
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。 **初期化しない → OK** 初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。 お知らせ ●「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。
フィルター時間	メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のダイアログが表示されます。 フィルター時間の初期化については、「その他」メニューの「フィルター時間」（🕮2-27）をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 詳細は、「スクリーン」メニューの「表示言語」（🕮2-20）をご参照ください。
詳細メニュー	**この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。** カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。 「詳細メニュー」には、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。（🕮2-6～50）
終了	カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

映像メニュー

「映像」メニューでは、表示中の映像設定について下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
下表およびメニュー表示に従って操作してください。

応用編

設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 **暗く ↔ 明るく**
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。 **弱く ↔ 強く**
ガンマ	カーソルボタン▲ / ▼で、ガンマモードを選択できます。 **デフォルト -1 ↔ カスタム -1 ↔ デフォルト -2 ↔ カスタム -2 ↔ デフォルト -3** **↕ ↕** **カスタム -7 カスタム -3** **↕ ↕** **デフォルト -7 デフォルト -4** **↕ ↕** **カスタム -6 ↔ デフォルト -6 ↔ カスタム -5 ↔ デフォルト -5 ↔ カスタム -4** **ガンマのカスタムモード調節手順** カスタムモード（“カスタム”のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 カスタムモード調節メニューを表示している間に ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは ENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。 **パターンなし → グレイスケール（9 ステップ）** **↳ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）** お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。 8 つの調節バーは、テストパターン（9 ステップ）の最も暗い階調（左端）を除く 8 つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から 2 番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。テストパターン左端の最も暗い階調は調節できません。  **お知らせ** ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
色温度	カーソルボタン▲ / ▼で、色温度を設定するための色温度モードを切り替えられます。色温度モードは、色温度を設定／調節するためのモードです。 **高 ↔ カスタム -1 ↔ 中 ↔ カスタム -2 ↔ 低 ↔ カスタム -3** **↕ ↕** **カスタム -6 ハイブライト -1** **↕ ↕** **ハイブライト -3 ↔ カスタム -5 ↔ ハイブライト -2 ↔ カスタム -4** **色温度のカスタムモード調節手順** カスタムモード（“カスタム”のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。 この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 カスタムモード調節メニューを表示している間に **ENTER** ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは **ENTER** ボタンを押すたび以下のように変更できます。 **パターンなし → グレイスケール（9 ステップ）** **↳ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）** お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。 **お知らせ** ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。 **淡く ↔ 濃く** **お知らせ** ●ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節できます。HDMI® 信号受信時は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（📖**2-13**）を「VIDEO」に設定しているか、もしくは「オート」に設定し、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合に有効となります。
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、いろあいを調節できます。 **赤っぽく ↔ 緑っぽく** **お知らせ** ●ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節できます。HDMI® 信号受信時は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（📖**2-13**）を「VIDEO」に設定しているか、もしくは「オート」に設定し、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合に有効となります。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。 **やわらかく ↔ くっきり** お知らせ ●調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。
ACCENTUALIZER	ACCENTUALIZER は視認性を改善する機能です。 ◀ / ▶ボタンを使って、画質を調節します。 **やわらかく ↔ くっきり** ●調整すると、ノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。
アクティブアイリス	カーソルボタン▲ / ▼で、アクティブアイリスモードを切り替えられます。 **プレゼンテーション ↔ シアター ↔ オフ** アクティブアイリスモードは、映像に合わせた、アイリス（光量絞り）の自動的な制御方法を決めます。 ■**「プレゼンテーション」モード**：映像に白ピーク映像が無い場合にアイリスを閉じます。プレンゼンテーション映像に適しています。 ■**「シアター」モード**：映像の平均的な明るさに連動してアイリスを制御します。自然画、動画の表示に適しています。 ■**「オフ」モード**：アクティブアイリスは常時オープンです。 お知らせ ●「プレゼンテーション」および「シアター」モードを選択した場合に画面にフリッカーが見えることがあります。気になる場合は「オフ」を選択してください。
マイメモリー	本機は 1 から 4 の番号のついた 4 つのメモリを備えており、「映像」メニューの設定を最大 4 組まで記憶保存することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目の機能を実行します。 **セーブ -1 ↔ セーブ -2 ↔ セーブ -3 ↔ セーブ -4** ↕ ↕ **ロード -4 ↔ ロード -3 ↔ ロード -2 ↔ ロード -1** ■**セーブ操作** 「セーブ -1」、「セーブ - 2」、「セーブ - 3」、「セーブ - 4」を実行すると、対応する番号のメモリに現在の「映像」メニューの全設定データを記憶します。 既にデータが記憶されているメモリにセーブ操作を行うと、メモリにデータが上書きされますのでご注意ください。 ■**ロード操作** 「ロード -1」、「ロード - 2」、「ロード - 3」、「ロード - 4」を実行すると、対応する番号のメモリからデータを呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。対応する番号のメモリに設定データが記憶されていない場合は選択できません。 ロード操作を行うと、メモリに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。 お知らせ ●ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。 ● **MY BUTTON（1 ～ 4）**を押してロード操作を行うこともできます。詳細は「その他」メニューの「マイボタン」（🕮2-28）をご覧ください。

表示メニュー

「表示」メニューでは、表示画面に関する下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
アスペクト（画面の縦横比）	カーソルボタン▲ / ▼で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。 **■コンピュータ信号を表示しているとき** <CP-X8170J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 <CP-WX8265J, CP-WU8460J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ リアル **■ HDMI® 信号を表示しているとき** <CP-X8170J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 <CP-WX8265J, CP-WU8460J> ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 ↔ リアル **■ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき** <CP-X8170J> 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 14 : 9 <CP-WX8265J, CP-WU8460J> 4 : 3 → 16 : 9 → 16 : 10 → 14 : 9 → リアル **■ LAN 端子、USB TYPE A ／ B 端子からの信号を表示しているとき または信号の入力がないとき** <CP-X8170J> 4 : 3（固定） <CP-WX8265J, CP-WU8460J> 16 : 10（固定） お知らせ ●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。
オーバースキャン	カーソルボタン◀ / ▶で、オーバースキャン（表示率）を調節できます。 **小さく**（画像は大きくなります）↔ **大きく**（画像は小さくなります） お知らせ ●ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節が可能です。HDMI® 信号受信時は「入力」メニューの「HDMI フォーマット」（📖2-13）を「VIDEO」に設定しているか、もしくは「オート」に設定し、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合にのみ有効となります。 ●表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
垂直位置	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。 下へ ↔ 上へ お知らせ ●ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（🕮2-9) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。 ● LAN 端子、USB TYPE A ／ B 端子、HDMI 1 ／ 2 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。 ●位置を動かしすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、RESET ボタンを押して初期設定に戻してください。
水平位置	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 右へ ↔ 左へ お知らせ ●ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（🕮2-9）の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合、調節できません。 ● LAN 端子、USB TYPE A ／ B 端子、HDMI 1 ／ 2 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。 ●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、RESET ボタンを押して初期設定に戻してください。
クロック位相	カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 右へ ↔ 左へ お知らせ ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。LAN 端子、USB TYPE A ／ B 端子、HDMI 1 ／ 2 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。
水平サイズ	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 小さく ↔ 大きく お知らせ ●コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。LAN 端子、USB TYPE A ／ B 端子、HDMI 1 ／ 2 端子からの映像信号を受信している時は調節できません。 ●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、RESET ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●調節時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。

（次ページにつづく）

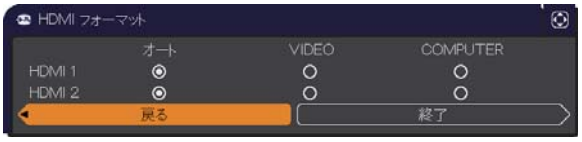
設定項目	操作内容
オートアジャスト実行	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。 **■コンピュータ信号を受信している場合** 「垂直位置」（📖2-10）、「水平位置」（📖2-10）、「クロック位相」（📖2-10）が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。 **■ビデオ信号、S- ビデオ信号を受信している場合** 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」（📖2-13）が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。 「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。 **■コンポーネントビデオ信号を受信している場合** 「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」が自動的に初期設定に戻ります。 お知らせ ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニューの「特別な設定」ー「オートアジャスト」（📖2-29）で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

入力メニュー

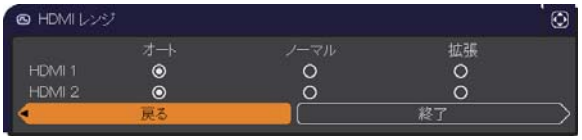
「入力」メニューでは、入力信号に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
プログレッシブ	カーソルボタン▲ / ▼で、プログレッシブモードを選択できます。 **TV ↔ フィルム ↔ オフ** **お知らせ** ●この機能は、ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、および HDMI® 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は 2-3 プルダウン変換システムに適応しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合が出ることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
VIDEO NR	カーソルボタン▲ / ▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。 **強 ↔ 中 ↔ 弱** **お知らせ** ●この機能は、ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、および HDMI® 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●この機能により画質が劣化することがあります。その場合は「中」、「弱」を選択してください。
色空間	カーソルボタン▲ / ▼で、色空間モードを選択できます。 **オート ↔ RGB ↔ SMPTE240 ↔ REC709 ↔ REC601** 色空間モードは、色を表す方式を設定するためのモードです。 「オート」を選択すると適切な色空間モードが自動的に設定されます。 **お知らせ** ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号（SCART RGB 信号を除く）を受信しているときのみ選択が可能です。**LAN** 端子、**USB TYPE A** ／ **B** 端子からの映像信号を受信している時は選択できません。 ●「オート」を選択すると適切なモードが自動的に選択されます。 ●信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。
COMPONENT	カーソルボタン▲ / ▼で、**COMPONENT** 端子の機能を切り替えることができます。 **COMPONENT ↔ SCART RGB** 「SCART RGB」を選択すると、**COMPONENT** 端子は RGB 信号の入力端子として、また **VIDEO** 端子が同期信号の入力端子として機能します。本機に SCART RGB 信号を入力するには SCART アダプターか SCART ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ビデオ フォーマット	S-VIDEO 端子と VIDEO 端子から受信する映像信号の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 S-VIDEO ↔ VIDEO 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。 オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM ↔ NTSC 4.43 ↔ M-PAL ↔ N-PAL 「オート」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。 お知らせ ●この機能は、通常、VIDEO 端子、S-VIDEO 端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 ●簡易スタック使用時、連結モードで、「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」－「サブ入力チャンネル」（📖2-34）を「固定」に設定している場合は、COMPUTER IN1 ／ 2 端子から受信するビデオ信号について設定できます。 ●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。 ●「オート」の実行には 10 秒程度の時間がかかる場合があります。
HDMI フォーマット	HDMI 1 ／ 2 端子から受信する映像信号のフォーマットを選択できます。  1）カーソルボタン▲ / ▼で、フォーマットを選択する HDMI 端子を選択します。 HDMI 1 ↔ HDMI 2 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のフォーマットを選択します。 オート ↔ VIDEO ↔ COMPUTER ■「オート」：入力信号の HDMI® フォーマットが自動的に選択されます。 ■「VIDEO」：DVD の信号として映像処理を行います。 ■「COMPUTER」：コンピュータ信号として映像処理を行います。 お知らせ ●「COMPUTER」を選択しているときは「色の濃さ」（📖2-7）、「色あい」（📖2-7）、「オーバースキャン」（📖2-9）の調節はできません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
HDMI レンジ	HDMI 1 ／ 2 端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択できます。  1) カーソルボタン▲ / ▼で、フォーマットを選択する HDMI 端子を選択します。 **HDMI 1 ↔ HDMI 2** 2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択します。 **オート ↔ ノーマル ↔ 拡張** ■**「オート」**：自動的に入力信号レベルに合わせます。 ■**「ノーマル」**：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。 ■**「拡張」**：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。 映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。
COMPUTER-イン	COMPUTER IN1 ／ 2 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の、信号受信モードを設定できます。 1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 **COMPUTER IN1 ↔ COMPUTER IN2** 2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から入力される映像信号の受信モードを選択してください。 **オート ↔ SYNC ON G オフ** 「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC. ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。**COMPUTER IN1 ／ 2** 端子へのコンポーネントビデオ信号の入力については、「入出力信号端子」（📖**4-4, 5**）をご参照ください。「オート」モードで映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」モードに設定してください。 **お知らせ** ●正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、いったん信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。 ●簡易スタック使用時、連結モードで、「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」－「サブ入力チャンネル」（📖**2-34**）を「固定」に設定している場合は、**COMPUTER IN1 ／ 2** 端子からビデオ信号を受信する場合についても設定できます。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>フレームロック</td><td>
各端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。
1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。
COMPUTER IN1 ↔ COMPUTER IN2 ↔ HDMI 1 ↔ HDMI 2
2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。
有効 ↔ 無効
フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。

お知らせ
●この機能は、垂直周波数が49～51、59～61Hzの信号を受信しているときのみ有効です。
●この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」にしてください。
</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td>
COMPUTER IN1 ／ 2 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。
カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。

■「オート」:
入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。
■「標準」:
設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。
■「カスタム」:

「カスタム」を選択すると、「解像度 _ カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。
入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタン(または INPUT ボタン)を押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。

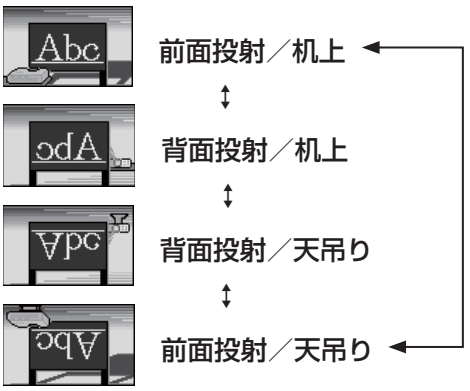
設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。
お知らせ
●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。
</td></tr>
</table>

設置メニュー

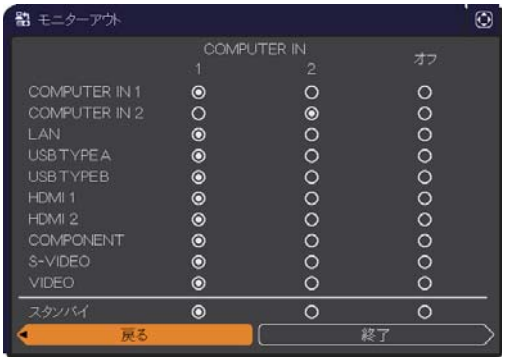
「設置」メニューでは、設置状態に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
オート キーストン （垂直）	**この機能は、「オートキーストン（垂直）」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。** カーソルボタン▶を押すと、垂直キーストン（ ◸ 方向の台形ひずみ）補正の自動調整が 1 回動作します。本機の傾きを変えた場合は、再度「オートキーストン（垂直）」を実行してください。 **お知らせ** ●調整範囲は入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●以下の場合には、垂直キーストン補正の自動調整が動作しない、あるいは正しく動作しない場合があります。 - ズーム調節を WIDE（大きく表示）側いっぱいに設定していない。 - 本機の傾きが（前後方向）約 ± 4° 以下、あるいは（前後方向）約 ± 35° 以上に設置されている。 -「設置方法」（🕮**2-17**）が「通常表示」以外に設定されていて、投写スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させている。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」（🕮**2-48**）を「有効」に設定しているか、または「コーナーフィット」（🕮 **下記**）を調節しているときは選択できません。
◸ キーストン	カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン（ ◸ 方向の台形ひずみ）の補正量を調節できます。 **画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく** **お知らせ** ●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●できるだけズーム調節を WIDE（大きく表示）に調節してお使いください。ズーム調節が TELE（小さく表示）側に調節されていると、過補正となることがあります。 ● 水平レンズシフトが真ん中に調節されていないと、正しく補正できないことがあります。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」（🕮**2-48**）を「有効」に設定しているか、または「コーナーフィット」（🕮 **下記**）を調節しているときは選択できません。
◹ キーストン	カーソルボタン◀ / ▶で、水平キーストン（ ◹ 方向の台形ひずみ）の補正量を調節できます。 **画像の右側を小さく ↔ 画像の左側を小さく** **お知らせ** ●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●水平レンズシフトが真ん中に調節されていないと、正しく補正できないことがあります。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューの「状態監視」（🕮**2-48**）を「有効」に設定しているか、または「コーナーフィット」（🕮 **下記**）を調節しているときは選択できません。
コーナーフィット	画面の四隅、および四辺を調節し、画面のひずみを補正することができます。 詳細は「画面のひずみを補正する」（🕮**1-45**）をご参照ください。 **お知らせ** ● **<CP-WU8460J のみ >** 四辺の調節はできません

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
オートエコモード	カーソルボタン▲ / ▼で、オートエコモードを切り替えられます。 **オン ↔ オフ** 「オン」を選択すると、「エコモード」（🕮 **下記**）の設定にかかわらず起動時は「エコ」モードに設定され、起動時に数十秒間「オートエコモード」と画面に表示します。
エコモード	カーソルボタン▲ / ▼で、エコモードを切り替えられます。 **ノーマル ↔ エコ** 「エコ」モードを選択すると、本機使用中の消費電力を抑え、動作音を低減できます。 お知らせ ●「エコ」モードでは画像の明るさもやや抑えられます。 ●「オートエコモード」（🕮 **上記**）が「オン」に設定されていると、本設定にかかわらず、本機はエコモードで起動します。
設置方法	カーソルボタンカーソルボタン▶を押すと、設置方法を選択するダイアログが表示されます。  ▲ / ▼で、画面の設置方法モードを選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してくださいできます。 お知らせ ●「セキュリティ」メニューの「状態監視」（🕮**2-48**）を「有効」に設定している状態で反転モードを変更し、電源を完全に切って（🕮**1-37**）から再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。
スタンバイモード	カーソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態であるときの消費電力モードを選択できます。 **通常 ↔ 省電力** 「省電力」を選択すると、消費電力を下げることができますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。 - ネットワークに接続できません。 - パワーオン、およびスタンバイモードの切替以外の RS-232C コマンドの送受信ができなくなります。「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」（🕮**2-32**）が「ネットワークブリッジ」に設定されている場合は、全ての RS-232C コマンドが送受信できません。 - **AUDIO OUT** 端子、および **MONITOR OUT** 端子から信号が出力されなくなります。 - センタリング機能（🕮**1-39**）が動作しなくなります。 - ステータスモニターを操作できなくなります。 - HDMI Link 機能が動作しなくなります。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
モニターアウト	本機の画面に表示する映像信号と MONITOR OUT 端子から出力される映像信号の組み合わせを設定できます。ご使用の機種によって、表示されるダイアログが異なりますのでご注意ください。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、表示中の出力信号を設定する、映像信号の入力端子を選択してください。 本機がスタンバイ状態のときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。ただし「スタンバイモード」（🕮2-17）に「省電力」モードが選択されている場合は「スタンバイ」を選択できません。  2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子からの映像を表示しているときに、MONITOR OUT 端子から出力する、映像信号の入力端子を選択してください。 「オフ」を設定すると、その端子からの映像信号を表示中は、MONITOR OUT 端子から映像信号が出力されません。 お知らせ ● MONITOR OUT 端子から出力される映像信号は、COMPUTER IN1 ／ 2 端子から入力された映像信号のみです。

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは、音声に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

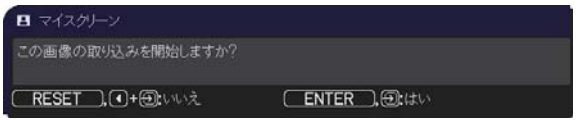
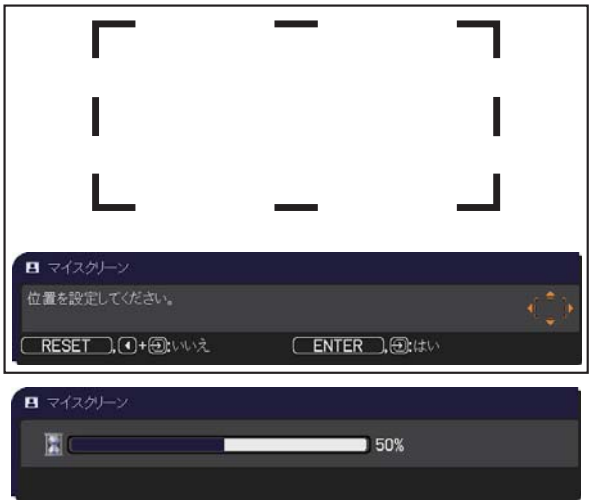
設定項目	操作内容
音量	カーソルボタン◀ / ▶で、オーディオ出力の音量を調節できます。 **小さく**（－側）↔ **大きく**（＋側）
音声入力設定	音声信号の入力端子と映像信号の入力端子の組み合わせを設定します。 1) カーソルボタン▲ / ▼で、選択する映像信号の入力端子を選択してください。 本機がスタンバイ状態のときに **AUDIO OUT** 端子から出力される音声信号を設定するには、「オーディオアウトスタンバイ」を選択してください。ただし、「設置」メニューの「スタンバイモード」(🕮**2-17**) で「省電力」が選択されている場合は「オーディオアウトスタンバイ」を選択できません。 2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した映像信号の入力端子に組み合わせる音声信号の入力端子を設定してください。 ダイアログに表示されるアイコンは以下の端子を示しています。 **「1」: AUDIO IN1** 端子　**「5」: USB TYPE A** 端子 **「2」: AUDIO IN2** 端子　**「6」: USB TYPE B** 端子 **「3」: AUDIO IN3** 端子　**「7」: HDMI 1** 端子 **「4」: LAN** 端子　**「8」: HDMI 2** 端子 **「🔇」:** 無出力（**AUDIO OUT** 端子の音量の調節（🕮**1-38, 上記**）、消音等の機能も動作しません） **お知らせ** ● 「4」～「8」の端子は、各端子を映像端子として選択している場合にのみ選択できます。 ● 「COMPUTER IN1」、「COMPUTER IN2」、「COMPONENT」、「S-VIDEO」、「VIDEO」に「🔇」を設定すると、「スクリーン」メニューの「C.C.」－「ディスプレイ」が「オート」に設定されていれば、C.C. 対応の 480i@60 コンポーネントビデオ信号、または NTSC 方式の S- ビデオ信号、ビデオ信号を受信すると、自動的に C.C. 機能が有効になります。

スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは、スクリーン表示に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー等の画面表示言語を選択できます。 選択した表示言語を適用するには、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 選択できる言語については、【技術情報編】「RS-232C ／ネットワークコマンド一覧」（🕮**4-28, 29**）をご参照ください。 お知らせ ●この項目で設定した表示言語は、プロジェクター Web コントロールにも適用されます。また、「ENGLISH」、「中文」、「日本語」を選択した場合には、"LiveViewer"、"LiveViewer Lite for USB" の各メニューにも適用されます。
メニュー位置	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、約１０秒間何も操作しないと終了します。
ブランク	カーソルボタン▲ / ▼で、ブランク画面を選択できます。 「ブランク画面」はリモコンの **AV MUTE** ボタンを押したときに投映される映像です。 **マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒** ■**「マイスクリーン」**：「マイスクリーン」（🕮**2-21**）で登録したお好みの映像が表示されます。 ■**「オリジナル」**：本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■**「青、白、黒」**：各色の無地画面が表示されます。 ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分でオートブランク画面に変わります。
オート ブランク	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、オートブランク画面を選択できます。 **青 ↔ 白 ↔ 黒** ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、以下のいずれかの状態になると数分でオートブランクで設定した画面に変わります。 ・「マイスクリーン」または「オリジナル」がブランク画面に設定されているとき ・「初期画面」が表示されているとき
初期画面	カーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。 「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない (入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など) ときに投映される映像です。 **マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない** ■**「マイスクリーン」**：「マイスクリーン」（🕮**2-21**）で登録したお好みの映像が表示されます。 ■**「オリジナル」**：本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■**「表示しない」**：黒の無地画面が表示されます。 ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、初期画面は数分でブランク画面に変わります。 ●マイスクリーンパスワード機能が有効に設定（🕮**2-46**）されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイスクリーン	ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像 (マイスクリーン) を登録することができます。 あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。 1)「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。  映像が静止し、登録する画像の位置を指定する為の枠が表示されます。 タイミングを間違えた、他の画面を登録したい、という場合は **RESET** ボタンを押してください。枠が消えて映像の静止が解除され、**ENTER** ボタンで映像を静止させる画面に戻ります。 2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で登録する画像の位置を調節してください。（受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。） 位置調節が終わったら、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して画像の取り込みを開始してください。 画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合は **RESET** ボタンを押してください。 画像の取り込みには数分ほどかかります。取り込みが完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。  取り込みに失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。 **お知らせ** ●この項目は、「マイスクリーンロック」（🕮 **下記**) が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、マイスクリーンパスワード機能（🕮**2-46**）が有効に設定されているときは選択できません。 ● **LAN** 端子、**USB TYPE A** 端子、**USB TYPE B** 端子、**HDMI 1** ／ **2** 端子からの映像信号は、マイスクリーンに登録できません。
マイスクリーンロック	カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。 **お知らせ** ●この項目は、マイスクリーンパスワード機能（🕮**2-46**）が有効に設定されているときは選択できません。

（次ページにつづく）

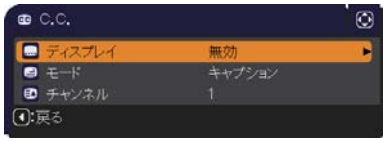
<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>メッセージ</td><td>
カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージモードを選択できます。
表示する ↔ 表示しない
「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。
・「オート 実行中」
・「信号が入力されていません」
・「信号は同期範囲外です」
・「入力信号が不安定です」
・「操作できないボタンが入力されました。」
・「+++FOCUS+++」（フォーカスダイアログ）
・「検索中…」
・「信号検出中…」
・「エコモード」
・入力切替による入力信号表示
・アスペクトの変更による縦横比の表示
・「アクティブアイリス」の変更による表示
・「マイメモリー」の変更による表示
・「映像モード」の変更による表示
・FREEZE ボタンを押したときの「静止」
・「テンプレート」の変更による表示
お知らせ
●「表示しない」に設定したときは、FREEZE ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。FREEZE ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。
</td></tr>
<tr><td>入力チャンネル名</td><td>
本機の入力端子にチャンネル名（アイコン、番号、名称）を割り当てることができます。
1）カーソルボタン▲ / ▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。カスタム入力チャンネル名ダイアログが表示されます。
2）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択した端子に割り振りたいアイコンを選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。アイコンに応じた端子の名称が、右側の「プレビュー」に表示されます。
3）カーソルボタン▲ / ▼で、選択した端子に割り振りたい番号を選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。
4）チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押します。
変更を保存しない場合は、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押します。
端子の名称を手動入力で変更したい場合は、「名称変更」を選択して ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。名称入力ダイアログが表示されます。
（次ページにつづく）

</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
入力チャンネル名 （つづき）	**■端子の名称を入力する** 最初の行（下線付き）に現在の名称が表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押して入力してください。RESET ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と INPUT ボタンを同時に押して、もしくは「消去」を選択して ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」を選択して ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと表示されている文字を全て削除することが出来ます。端子の名称は最大 16 文字入力できます。 **■端子の名称を編集する** カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、名称が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押して選択します。選択した文字を、名称を入力するときと同じ手順で編集してください。 **■端子の名称を保存する** 名称の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。
テンプレート	カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。 **テストパターン ↔ 点線１ ↔ 点線２ ↔ 点線３ ↔ 点線４** ↕ ↕ **スタック ↔ 地図２ ↔ 地図１ ↔ 円２ ↔ 円１** 選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。カーソルボタン◀を押すと、表示画面からパターン選択画面に戻ります。テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てた MY BUTTON（🕮2-28）を押すことによっても表示できます。表示されるのは MY BUTTON を押す直前に選択していたテンプレート画面となります。 「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中に RESET ボタンを 3 秒間以上押してください。操作のガイタンスが表示されます。 **■北半球を上にして表示** カーソルボタン▲を押してから ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押す。 **■南半球を上にして表示** カーソルボタン▼を押してから ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押す。 **■南半球を上にして表示** カーソルボタン▼を押してから ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押す。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
C.C. (Closed Caption)	この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「C.C.」メニューが表示されます。 クローズドキャプション（C.C.）は、ビデオやテレビ番組、ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C. に対応した、NTSC 方式のテレビ（ビデオ）信号や 480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。接続している機器や信号源によっては適切に働かない場合があります。この場合は、C.C. をオフにしてください。 カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。 
	ディスプレイ カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。 **オート ↔ 有効 ↔ 無効** ■**「オート」**：音声が消音になると、自動的にクローズドキャプションを表示します。 ■**「有効」**：クローズドキャプションを表示します。 ■**「無効」**：クローズドキャプションを表示しません。 お知らせ ●画面にメニュー表示が出ている間は、クローズド・キャプションは表示されません。 ●クローズドキャプション (C.C.) は、テレビ信号やその他のビデオ信号に含まれる対話やナレーションの内容、効果音等の情報を文字で画面に表示する機能です。本機能をお使いになるには、C.C. 機能に対応した映像信号が必要です。
	モード カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。 **キャプション ↔ テキスト** ■**「キャプション」**：音声情報の字幕を表示します。 ■**「テキスト」**：報道内容や番組ガイド等の文字情報を、スクリーン全体を使って表示します。C.C. 機能に対応したすべての映像信号が「テキスト」に対応しているわけではありません。
	チャンネル カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。 **1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4** ■**「1」**：チャンネル 1　第 1 チャンネル / 主言語 ■**「2」**：チャンネル 2 ■**「3」**：チャンネル 3 ■**「4」**：チャンネル 4 使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。
PinP 位置	リモコンのカーソルボタン▲ / ▼を使用して、PinP モードのサブエリアの位置を変更します。

その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
チャンネルスキップ	入力信号の自動検索機能（オートサーチ）で信号を検索する対象となる端子を選択できます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定する端子を選択します。 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子の検索設定を選択します。 **ノーマル ↔ スキップ** 「スキップ」に設定した端子は、信号の自動検索機能での対象から外れます。全ての端子を「スキップ」に設定することはできません。 **お知らせ** ●簡易スタックで連結モード（📖2-68）使用時は、この設定は無効になります。 ● 2 画面表示モード（📖2-51 ～ 53）では、この設定は無効になります。
オートサーチ	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかると、検索をやめ、その映像が表示されます。 検索実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。 COMPUTER IN1 → COMPUTER IN2 → LAN → USB TYPE A ↓ USB TYPE B ↓ HDMI 1 → HDMI 2 → COMPONENT → S-VIDEO ↓ VIDEO ↓ COMPUTER IN1 **お知らせ** ● USB TYPE B 端子からの映像を表示するには時間がかかる場合があります。
オートキーストン（垂直）	カーソルボタン▲ / ▼で、オートキーストン（垂直）補正（⏢ 方向の台形ひずみの自動補正）機能の有効／無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** ■**「有効」**：本機の傾きを変更した際に、垂直キーストンの補正量を自動的に調整します。 ■**「無効」**：オートキーストン（垂直）補正は、機能しません。 垂直キーストン補正の自動調整を実行するには、「設置」メニューの「オートキーストン（垂直）」（📖2-16）を使用してください。 **お知らせ** ●天吊りのように、本機を固定設置する場合は、この機能は「無効」を選択することを推奨します。 ●この機能は「セキュリティ」メニューの「状態監視」（📖2-48）を「有効」に設定しているときは選択できません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ダイレクト パワーオン	カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効／無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、本機の使用中（ランプ点灯中）に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源に接続したときに、ボタン操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。 お知らせ ●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源に接続しても、ランプは自動的に点灯しません。通常の手順（🕮1-36）で電源を入れてください。 ・通常の手順でランプを消灯したとき。 ・オートパワーオフ機能（🕮 下記）で電源が切れたとき。 ●ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。
オート パワーオフ	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。 **長く**（最長 99 分）↔ **短く**（最短 1 分、0 分 : 無効） 例 オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。 お知らせ ●リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ●手動で電源を切る方法については「電源を切る」（🕮1-37）をご参照ください。
シェード タイマー	カーソルボタン▲ / ▼で、レンズシェードを閉じてから本機の電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。 **1h ↔ 3h ↔ 6h** お知らせ ●電源を入れ直した時には、レンズシェードは自動的に開きます。
USB TYPE B	カーソルボタン▲ / ▼で、**USB TYPE B** 端子の用途を切り替えられます。 **マウス ↔ USB ディスプレイ** ■**「マウス」**：リモコンをコンピュータの簡易マウス／キーボードとしてご使用いただけます（🕮1-31）。 ■**「USB ディスプレイ」**：**USB TYPE B** 端子はコンピュータからの映像信号入力端子として機能します（🕮2-63）。 お知らせ ● **USB TYPE B** 端子からの映像を表示するには時間がかかる場合があります。 ●以下の場合には、**USB TYPE B** 端子が映像入力端子として使用できないことを通知するメッセージが表示されます。 - **USB TYPE B** 端子からの映像信号を選択しているのに、「マウス」に切り替えた場合。 - この項目が「マウス」に設定されているのに、**USB TYPE B** 端子を映像信号の入力端子として使用しようとしている場合

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ランプ時間	「その他」メニューに表示されている「ランプ時間」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプの点灯時間を1時間単位で表示します。 「ランプ時間」を選択してカーソルボタン▶または RESET ボタンを押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** ランプ時間を初期化した後は、メニューの「ランプ時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。 **お知らせ** ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」（📖1-49, 50）をお読みください。 ●ステータスモニターでもランプ時間を確認することができます。
フィルター時間	「その他」メニューに表示されている「フィルター時間」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルター時間を初期化した時からの現在までの本機の稼動時間を1時間単位で表示します。 「フィルター時間」を選択してカーソルボタン▶または RESET ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** フィルター時間を初期化した後は、メニューの「フィルター時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。 **お知らせ** ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ（📖2-30）が正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖1-51, 52）をお読みください。 ●ステータスモニターでもフィルター時間を確認することができます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイボタン	リモコンの **MY BUTTON（1 ～ 4）** ボタンに機能を割り当てることができます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定するマイボタン（1 ～ 4）を選択し、カーソルボタン▶を押してマイボタンセットアップダイアログを表示します。 2）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択したボタンに割り当てる機能を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 ■**「スライドショー」**：**USB TYPE A**端子からの信号を選択し、スライドショーを開始します。 ■**「マイ イメージ」**：マイ イメージメニューを表示します。 ■**「メッセンジャー」**：メッセンジャーテキストを表示します。表示するデータがないときは、メッセージを表示します。 ■**「シェード」**：レンズシェードを開閉します。 ■**「PbyP / PinP 画面入れ替え」**：PbyP モードで左右の画面を入れ替えます。PinP モードでメインとサブの画面を入れ替えます。 ■**「インフォメーション」**：ボタンを押すたびに、「システム _ インフォメーション」ダイアログ（ランプ時間およびフィルター時間）、「入力 _ インフォメーション」ダイアログ（📖**2-35**）、「無線 LAN インフォメーション」ダイアログ（📖**2-39**）、「有線 LAN インフォメーション」ダイアログ（📖**2-41**）を表示します。 ■**「オートキーストン（垂直）」**：垂直キーストン補正の自動調整を実行します。（📖**2-16**） ■**「マイメモリー」**：「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。（📖**2-8**） **マイメモリーを設定したときのマイボタン動作** **MY BUTTON** を押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが表示されます。 設定データがメモリに保存されていれば、**MY BUTTON** を押すたびに、順次設定データを呼び出し、適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」ダイアログが表示されます。 ■**「アクティブアイリス」**：アクティブアイリスモードを変更します。（📖**2-8**） ■**「映像モード」**：映像モードを変更します。（📖**2-4**） ■**「フィルターリセット」**：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。（📖**2-27**） ■**「テンプレート」**：テンプレート画面を表示します。（📖**2-23**） ■**「消音」**：音声のオン／オフを切り替えます ■**「解像度」**：画面の解像度の設定メニューを表示します。（📖**2-15**） ■**「 エコモード」**：エコモードを変更します。（📖**2-17**） ■**「ACCENTUALIZER」**：ACCENTUALIZER ダイアログを表示します。 ■**「ステータスモニター」**：ステータスモニターのバックライトをオンオフします。この機能は本機がスタンバイモードで省電力が選択されているときは動作しません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定	この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「特別な設定」メニューが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。
	高地モード カーソルボタン▲ / ▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。 **高地 -2 ↔ 高地 -2 ↔ 標準 ↔ オート** 工場出荷時は、「オート」に設定されています。「オート」に設定していると問題がある場合を除き、設定を変更しないでください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。 ■**「オート」**：本機が自動的に標高を判断し、最適なファン速度を設定します。 ■**「標準」**：標高 1600m 以下の場所でご使用ください。 ■**「高地 -1」**：標高 1600m ～ 2300m の場所でご使用ください。 ■**「高地 -2」**：標高 2300m 以上の場所でご使用ください。
	オートアジャスト カーソルボタン▲ / ▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目を設定できます。 **詳細 ↔ 高速 ↔ 無効** 自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。 ■**「詳細」**：画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。 ■**「高速」**：画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。 ■**「無効」**：画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。 お知らせ ●入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、「無効」に設定してから、手動で調節してください。
	ゴースト <CP-X8170J/CP-WX8265J のみ> 画面のゴースト（横方向の色ずれ）を低減します。 1) カーソルボタン◀ / ▶で、調節する色を選択してください。 **R ↔ G ↔ B** 2) カーソルボタン▲ / ▼でゴーストが見えなくなるように調節してください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定（つづき）	**フィルター掃除通知** カーソルボタン▲ / ▼で、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。 **1000h ↔ 2000h ↔ 5000h ↔ 10000h ↔ 15000h ↔ 20000h ↔ 無効** エアーフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。「無効」以外を設定すると、フィルター時間（📖2-27）の値が設定した時間に達したとき、エアーフィルターの掃除をお願いするメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。 お知らせ ●お掃除メッセージが表示されなくても、エアーフィルターは定期的に掃除してください。エアーフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ●ご使用環境やエアーフィルターの状態に気を付けてご使用ください。
	レンズタイプ 使用するレンズユニットを設定します。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、使用しているレンズの型名を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。「オート」を選択すると、本機が自動的に型名を判断します。 2）確認のダイアログが表示されますので、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。 お知らせ ●この設定は、オートキーストン（垂直）補正などに影響します。 ●本機が自動的に判断したレンズの型名は、「オート」の右側に表示されます。本機がレンズの型名を判断できない場合は、「レンズタイプが判定出来ません」と表示されます。 ●レンズユニット（別売品）については、販売店にご確認ください。
	レンズロック カーソルボタン▲ / ▼で、レンズの調節に使用するボタンをロックすることができます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、リモコン、及び操作パネルの ZOOM、ZOOM ＋／－、FOCUS ＋／－、LENS SHIFT、LENS MEMORY の各ボタンが無効になります。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定（つづき）	**キーロック** 操作パネル、またはリモコンのボタン（キー）をロックすることができます。 1) カーソルボタン▲/▼で、ボタンをロックする方を選択します。 **コントロールパネル**（操作パネル）↔ **リモコン** 2) カーソルボタン◀/▶でキーロック機能の有効／無効を設定します。 **有効 ↔ 無効** 「有効」を選ぶと、リモコンの **ON** ボタン、**STANDBY** ボタン、及び操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外の各ボタンが無効になります。 お知らせ ●いたずらや誤操作を防止したい場合、また、簡易スタックで、単体モード（📖**2-68**）使用時などに、この機能をご使用ください。 ●操作パネルとリモコンの両方を「有効」（ロック）に設定することはできません。
	リモコン受光部 1) カーソルボタン▲/▼で、設定するリモコン受光部を選択します。 **前面 ↔ 背面** 2) カーソルボタン◀/▶でリモコン受光部の有効 / 無効を切り替えてください。 **有効 ↔ 無効** お知らせ ●両方の受光部を「無効」に設定することはできません。
	リモコン周波数 1) カーソルボタン▲/▼で、信号受信周波数モードを選択します。 **1: 標準 ↔ 2: 高** 2) カーソルボタン◀/▶で周波数モードの有効 / 無効を切り替えてください。 **有効 ↔ 無効** 工場出荷時には「1：標準」と「2：高」の両方共有効になっています。リモコンが正常に機能しない場合、「1: 標準」または「2:高」だけを有効にしてみてください。「1:標準」と「2:高」の両方を無効にすることはできません。
	リモコン ID 1) カーソルボタン▲/▼で、本機に設定するリモコン ID を選択してください。 **全 ID ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4** 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 本機は、同じ ID 番号を設定したリモコン（📖**1-30**）でしか操作できなくなります。「全 ID」を設定した場合は、どの ID を設定されたリモコンでも操作できます。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">特別な設定
（つづき）</td><td colspan="2">通信設定
この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「通信設定」メニューが表示されます。「通信設定」メニューでは、CONTROL 端子を経由する通信の設定を行うことができます。
カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。

お知らせ
●「通信タイプ」（🕮 下記）を「オフ」に設定していると、「通信設定」メニュー内の、「スタック」（🕮2-33）以外の項目は選択できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">通信設定</td><td>通信タイプ
カーソルボタン▲ / ▼で、CONTROL 端子を経由する伝達通信タイプを選択できます。
ネットワークブリッジ ↔ オフ
■「ネットワークブリッジ」:
コンピュータから本機を経由して、外部機器をネットワーク端末として制御したい時に選択してください。詳細は、【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」（🕮3-51～53）をご参照ください。
■「オフ」:
RS232C 端子をコンピュータに接続して RS-232C 通信を行うときに選択してください。
お知らせ
●工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
●「ネットワークブリッジ」を選択する時は、「通信方式」（🕮2-33）をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>シリアル設定
ネットワークブリッジでの、CONTROL 端子の通信状態を選択することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で設定する項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。カーソルボタン▲ / ▼で、各項目を設定してください。
■ボーレート
4800 bps ↔ 9600 bps ↔ 19200 bps ↔ 38400 bps
■パリティ
なし ↔ 奇数 ↔ 偶数
お知らせ
●「通信タイプ」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときは、ボーレートは「19200bps」、パリティは「なし」に固定されます。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="3">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">特別な設定
（つづき）</td><td rowspan="4">通信設定
（つづき）</td><td colspan="2">
通信方式
この項目は、「通信タイプ」（📖2-32）で「ネットワークブリッジ」が選択されている時のみ設定できます。
カーソルボタン▲ / ▼で、ネットワークブリッジでの、CONTROL 端子からの伝達用の通信方式を選んでください。
半二重通信 ↔ 全二重通信
■「半二重通信」：データの送信、受信を交互に行います。
■「全二重通信」：データの送受信を同時に行います。
お知らせ
●工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。
●「半二重通信」を選択する時は、「応答データ受信期間」（📖 下記）をご確認ください。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">
応答データ受信期間
この項目は、「通信タイプ」（📖2-32）に「ネットワークブリッジ」、「通信方式」（📖 上記）に「半二重通信」が設定されているときのみ設定できます。
カーソルボタン▲ / ▼で、外部機器からの応答待機時間を選択してください。
オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s
■「オフ」：コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。
■ 1s/2s/3s：データ送信先の外部機器からの応答待機時間を設定します。設定された時間は、CONTROL 端子からデータが送信されません。
お知らせ
●工場出荷時は、「オフ」に設定されています 。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">
スタック
この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「スタック」メニューが表示されます。

「スタック」メニューでは、簡易スタック機能に関する設定を行うことができます。
簡易スタック機能の詳細は、「簡易スタック」（📖2-66～94）をご参照ください。
お知らせ
●「セキュリティ」メニューの「スタックロック」（📖2-50）が「有効」に設定されている場合は、この項目は選択できません。
●「スタック」メニューの設定を変更すると、メニューを閉じるときに、「スタック設定を変更しますか？」のメッセージが表示されます。
</td></tr>
<tr><td>スタック</td><td>
スタックモード
連結モードで使用する場合の、本機の扱いを設定します。
オフ ↔ メイン ↔ サブ
単体モードで使用する場合は「オフ」に設定してください。
</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容		
特別な設定 （つづき）	通信設定 （つづき）	スタック （つづき）	**ランプモード** 連結モードで使用する場合の、プロジェクター（ランプ）の点灯モードを設定します。 **同時点灯 ↔ 交互点灯** ■**「同時点灯」**：2 台のプロジェクターを同時に点灯します。 ■**「交互点灯」**：電源を入れるたびに、点灯するプロジェクターを変更します。 **お知らせ** ●この項目は、メイン機での設定のみ有効となります。 ●「同時点灯」に設定すると、リモコンや操作パネルのボタンを押したときや、その他の画面表示、およびメニューの設定が一部変更されます。詳細は、「簡易スタック」（📖**2-66～94**）をご参照ください。
			交互点灯モード 「ランプモード」（📖 **上記**）を「交互点灯」に設定した場合の、ランプの点灯順を設定します。 **オート ↔ ノーマル** ■**「オート」**：ランプの使用時間（📖**2-27**）が短い方を点灯させます。 ■**「ノーマル」**：前回点灯していなかった方を点灯させます。 **お知らせ** ●「オート」に設定しても、本機の画質や信頼性を維持するため、ランプ使用時間の長い方が点灯する場合があります。
			サブ入力チャンネル 連結モードで使用する場合の、サブ機の映像入力信号を設定します。 **連動 ↔ 固定（COMPUTER IN1）** ■**「連動」**：メイン機の設定に連動します。 ■**「固定」**：COMPUTER IN1 端子からの入力に固定されます。COMPUTER IN1 端子には、メイン機の MONITOR OUT 端子からの入力を接続してください。 **お知らせ** ●「固定」に設定すると、入出力信号の設定やリモコンや操作パネルのボタンを押したときの画面表示が変更されます。詳細は、「簡易スタック」（📖**2-66～94**）をご参照ください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**インフォメーション** この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。 この項目を選択すると「入力 _ インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。 お知らせ ● " フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能（🕮2-15）が動作していることを示します。 ● "SCART RGB” と表示されている場合は、**COMPONENT** 端子が SCART RGB 端子として動作していることを示します。「入力」メニューの「COMPONENT」（🕮2-12）を参照してください。 ●正常な信号を受信していない状態では、この項目は選択できません。 ●「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」（🕮2-49）が「有効」に設定されていると、「入力 _ インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。 **初期化しない → OK** お知らせ ●「ランプ時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「フィルター掃除通知」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。

ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

「ネットワーク」メニューでは、ネットワーク機能に関する下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。

応用編

お知らせ

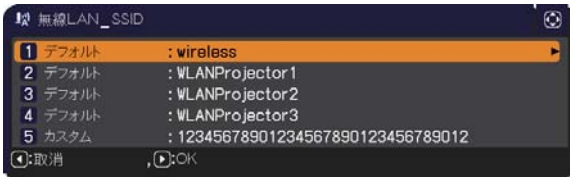
- ●本機の無線 LAN 機能を使用するには、別売品の USB ワイヤレスアダプターが必要です。お求めの際は、販売店にご相談ください。
- ●本機を無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続しないでください。ネットワークアドレスは、それぞれ無線 LAN と有線 LAN で別になるように設定してください。
- ●ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合は、日時を設定する必要があります（🕮**2-37, 40, 3-26**）。
- ●「設置」メニューの「スタンバイモード」（🕮**2-17**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」に設定してから本機をネットワークに接続してください。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定	この項目を選択してカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「無線 LAN 設定」メニューを表示します。無線 LAN 設定メニューでは、本機を無線 LAN に接続する際に必要な、本機の設定を行います。本機に接続するコンピュータやアクセスポイントなどの設定は、【ネットワーク編】をご参照ください。 カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。
	モード 1) カーソルボタン▲ / ▼で、ネットワークへの接続モードを選択してください。 **ADHOC ↔ INFRASTRUCTURE** 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 **お知らせ** ●「ADHOC」を選択すると、IEEE802.11n は使用できなくなります。 ●「暗号方式」（🕮**2-38**）に WPA-PSK、または WPA2-PSK を設定しているときに、本設定を「ADHOC」に設定すると、「暗号方式」は自動的に「オフ」に変更されます。
	DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) 1) カーソルボタン▲ / ▼で、DHCP のオン／オフを選択してください。 **オン ↔ オフ** DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 **お知らせ** ●「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 ●「オン」に設定しても DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、本機には自動的に IP アドレスが割り当てられます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 （つづき）	IP ADDRESS カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、IP アドレスを入力してください。 お知らせ ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● “0.0.0.0”は設定できません。
	SUBNET MASK カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力してください。 お知らせ ●この項目は「DHCP」（📖2-36）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。 ● “0.0.0.0”は設定できません。
	DEFAULT GATEWAY カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、デフォルトゲートウェイを入力してください。 デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。 お知らせ ●この項目は「DHCP」（📖2-36）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。
	DNS SERVER カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、DNS サーバーのアドレスを入力してください。 DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。
	時差 カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力してください。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。コンピュータの設定が不明な場合はネットワーク管理者にお尋ねください。 カーソルボタン▶を押すと、「ネットワークセットアップ」メニューに戻ります。 お知らせ ●本項目を設定すると、「有線 LAN 設定」の同項目（📖2-40）も上書きされます。
	日付と時刻の設定 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力してください。 お知らせ ●接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。 ●本項目を設定すると、「有線 LAN 設定」の同項目（📖2-40）も上書きされます。 ●「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖2-17）を「省電力」に設定して本機をスタンバイ状態にしたり、電源コードを抜くなどして AC 電源が本機に供給されなくなると、本設定は初期化されます。
	チャンネル 1) カーソルボタン▲ / ▼で、ADHOC で接続する時の接続チャンネルを選択してください。 1 ～ 11 のチャンネルを選択できます。 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 お知らせ ●この項目は、「モード」（📖2-36）を「ADHOC」に設定しているときのみ設定できます。「モード」を「INFRASTRUCTURE」に設定していると、接続チャンネルは自動的に設定されます。 ●通信状況によっては、本項目で設定したチャンネルと実際に使用する接続チャンネルは異なる場合があります。実際の接続チャンネルは、「無線 LAN インフォメーション」（📖2-39）でご確認ください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 （つづき）	**暗号方式** 1) カーソルボタン▲ / ▼で、使用する暗号方式を選択してください。 **WPA2-PSK（AES）↔ WPA2-PSK（TKIP）↔ WPA-PSK（AES）** **↕ ↕** **オフ ↔ WEP 64bit ↔ WEP 128bit ↔ WPA-PSK（TKIP）** 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 お知らせ ●「モード」（📖2-36）を「ADHOC」に設定していると、WPA-PSK、および WPA2-PSK は選択できません。 ●「モード」を「INFRASTRUCTURE」に設定して IEEE802.11n で通信している間は、TKIP、および WEP は使用できません。「WPA2-PSK（TKIP）」、「WPA-PSK（TKIP）」、「WEP 128bit」、「WEP 128bit」のどれかを設定すると、自動的に IEEE802.11b または g に切り替わります。
	SSID 1) カーソルボタン▲ / ▼で、使用する SSID を選択してください **#1 デフォルト ↔ #2 デフォルト** **↕ ↕** **#5 カスタム #3 デフォルト** **↳ #4 デフォルト ↵**  2)「デフォルト」（#1 ～ #4）を選択した場合は、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押して設定を保存してください。 「#5 カスタム」を選択した場合は、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「SSID _カスタム」ダイアログが表示されます。 **■ SSID を入入力する** 最初の行（下線付き）に現在のカスタム SSID が表示されます。まだ登録していない場合は、最初の行は空白です。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して入力してください。**RESET** ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と **INPUT** ボタンを同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。SSID は最大 32 文字入力できます。 **■ SSID を編集する** カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、名称が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して選択します。選択した文字を、SSID を入力するときと同じ手順で編集してください。 **■ SSID を保存する** SSID の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>無線 LAN
インフォメーション</td><td>
この機能は、「無線 LAN インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。
カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「無線 LAN インフォーメーション」ダイアログが表示されます。このダイアログは、2 ページ（以上）つづりになっています。カーソルボタン▲／▼でページを切り替えてください。

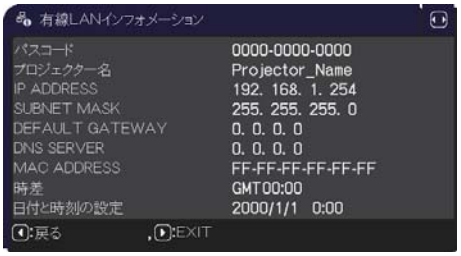
最初のページは本機の無線 LAN の設定を表示します。2 ページ目以降は、本機の周囲にある無線 LAN 接続機器の信号情報を表示します。
お知らせ
●「パスコード」に関する詳細は、“LiveViewer”の説明書をご参照ください。
●「プロジェクター名」、および「SSID」は、最初の 16 文字のみが表示されます。未登録の場合は何も表示されません。
●「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」は、以下の場合、それぞれ“0.0.0.0”と表示されます。
-USB ワイヤレスアダプターが挿入されていない場合
-「DHCP」（📖2-36）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを習得できていない場合
● USB ワイヤレスアプターが挿入されていないと、「チャンネル」と「スピード」には何も表示されません。
●「チャンネル」には、実際に使用している接続チャンネルが表示されます。「チャンネル」（📖2-37）で設定されたチャンネルとは異なる場合があります。
● 2 ページ目以降で、本機と接続している機器の SSID の左には、接続を示すアイコンが表示されます。
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">有線 LAN 設定</td><td>
この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「有線 LAN 設定」メニューを表示します。有線 LAN 設定メニューでは、本機を有線 LAN に接続する際に必要な、本機の設定を行います。本機に接続するコンピュータやアクセスポイントなどの設定は、【ネットワーク編】をご参照ください。
カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。

</td></tr>
<tr><td>
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)
1) カーソルボタン▲ / ▼で、DHCP のオン／オフを選択してください。
オン ↔ オフ
DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。
2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。
お知らせ
●「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。
●「オン」に設定しても DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、本機には自動的に IP アドレスが割り当てられます。
</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
有線 LAN 設定 （つづき）	IP ADDRESS カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、IP アドレスを入力してください。 お知らせ ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● “0.0.0.0”は設定できません。
	SUBNET MASK カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力してください。 お知らせ ●この項目は「DHCP」（📖2-39）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。 ● “0.0.0.0”は設定できません。
	DEFAULT GATEWAY カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、デフォルトゲートウェイを入力してください。 デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。 お知らせ ●この項目は「DHCP」（📖2-39）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。
	DNS SERVER カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、DNS サーバーのアドレスを入力してください。 DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。
	時差 カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力してください。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。コンピュータの設定が不明な場合はネットワーク管理者にお尋ねください。 カーソルボタン▶を押すと、「ネットワークセットアップ」メニューに戻ります。 お知らせ ●本項目を設定すると、「無線 LAN 設定」の同項目（📖2-37）も上書きされます。
	日付と時刻の設定 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力してください。 お知らせ ●接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。 ●本項目を設定すると、「無線 LAN 設定」の同項目（📖2-37）も上書きされます。 ●「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖2-17）を「省電力」に設定して本機をスタンバイ状態にしたり、電源コードを抜くなどして AC 電源が本機に供給されなくなると、本設定は初期化されます。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>有線 LAN
インフォメーション</td><td>
この機能は、「有線 LAN インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。
カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「有線 LAN インフォーメーション」ダイアログが表示されます。このダイアログでは、現在の有線 LAN の設定情報を確認することができます。


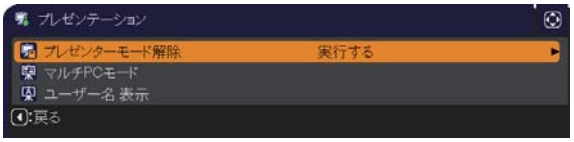
お知らせ
● 「パスコード」に関する詳細は、“LiveViewer”の説明書をご参照ください。
● 「プロジェクター名」は、最初の 16 文字のみが表示されます。未登録の場合、何も表示されません。
● 「DHCP」（2-39）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを習得できていない場合、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」はそれぞれ“0.0.0.0”と表示されます。
</td></tr>
<tr><td>プロジェクター名</td><td>
本機の名前（プロジェクター名）を登録することができます。
■プロジェクター名を入力する
最初の 3 行（下線付き）に現在のプロジェクター名が表示されます。まだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。
カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押して入力してください。
RESET ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と INPUT ボタンを同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」にカーソルを合わせて ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。
プロジェクター名は最大 64 文字まで入力できます。

■プロジェクター名を編集する
カーソルボタン▲/◀/▶で、プロジェクター名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押して選択します。選択した文字を、プロジェクター名を入力するときと同じ手順で編集してください。
■プロジェクター名を保存する
プロジェクター名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。
変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。
</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイ イメージ	マイ イメージ機能で転送された静止画像を、本機で表示できます。 カーソルボタン▲ / ▼で、表示したい画像データを選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画像を表示できます。 **画像 -1 ↔ 画像 -2 ↔ 画像 -3 ↔ 画像 -4** **■マイ イメージの切り替え** 画像が表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼で、表示する画像を切り替えることができます。 **■マイ イメージの削除** 画像表示中に **RESET** ボタンを押すと、マイ イメージ消去確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、表示している画像のファイルを、記録メディアから削除できます。削除したくない場合は、カーソルボタン◀を押してください。 マイ イメージ機能を使用するには、専用のアプリケーションが必要です。弊社のホームページからダウンロードしてご使用ください。ホームページの「サービス&サポート」欄から、画面表示に従って、ダウンロードできます。 **弊社ホームページ URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/** 詳細は、【ネットワーク編】「マイ イメージ」（🕮3-47, 48）をご参照ください。 お知らせ ●静止画像を含まない項目は選択できません。 ●表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。 ●本機の「表示言語」（🕮2-20）が日本語に設定されていないと、日本語のファイル名は正しく表示されません。また、日本語に設定されていると、英数字以外の文字（Ç, ä など）は正しく表示されません。
AMX D.D.	カーソルボタン▲ / ▼で、AMX デバイスディスカバリー (AMX Device Discovery) の設定を行います。 **オン ↔ オフ** オンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリー についての詳細は、AMX のホームページ URL:http://www.amx.com をご覧ください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
プレゼンテーション	この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「プレゼンテーション」メニューを表示します。 「プレゼンテーション」メニューでは、ネットワークプレゼンテーションに関する設定を行います。ネットワークプレゼンテーションを使用するには、同梱のアプリケーション CD から、“LiveViewer”をご使用のコンピュータにインストールしてください。“LiveViewer”のインストール、および“LiveViewer”、ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、“LiveViewer”の説明書をご参照ください。 カーソルボタン▲ / ▼で、設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。 
	プレゼンターモード解除 本機をプレゼンターモードで使用しているコンピュータがある場合に、本機から強制的にプレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセスできるようにします。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセージを表示します。 お知らせ ●プレゼンターモードは、"LiveViewer" のオプションメニューで設定してください。詳細は“LiveViewer”の説明書をご参照ください。
	マルチ PC モード 本機の表示モードを切り替えることができます。 ネットワークプレゼンテーションでは、1 台のコンピュータからの映像をフルスクリーンで表示するシングル PC モードと、複数のコンピュータからの映像を 4 分割した画面に表示するマルチ PC モードの、2 通りの表示モードを選択することができます。 **■マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替える** 1）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、シングル PC モードで表示するコンピュータの映像を左側の 4 分割画面から選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押してください。 2）カーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと、シングル PC モードに切り替わり、選択した画面がフルスクリーンで表示されます。 **■シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替える** カーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタン（または INPUT ボタン）を押すと、マルチ PC モードに切り替り、画面は 4 分割されます。 お知らせ ●コンピュータで表示モードを切り替える方法については、“LiveViewer”の説明書をご参照ください。 ● 表示モードをシングル PC モードに変更すると、選択されたコンピュータでのプレゼンターモード設定が有効になります。また、表示モードがマルチ PC モードに変更されると、プレゼンターモード設定は、コンピュータでの設定にかかわりなく無効になります。
	ユーザー名表示 この機能は、「ユーザー名表示」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「ユーザー名」ダイアログが表示されます。このダイアログには、表示されている映像ごとにユーザー名が表示されます。 お知らせ ●ユーザー名は、"LiveViewer" のオプションメニューで登録してください。詳細は、“LiveViewer”の説明書をご参照ください。

（次ページにつづく）

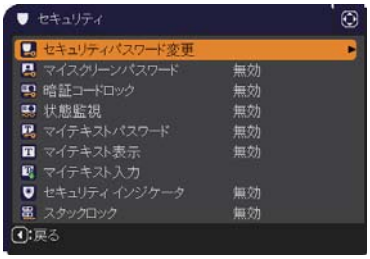
設定項目	操作内容
特別な設定	**ネットワーク リスタート** ネットワーク設定を初期化して、再起動することができます。 ネットワークの動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、リスタート確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ネットワークをリスタートします。 **初期化しない → OK** お知らせ ●ネットワークリスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。 ●「DHCP」（📖**2-36, 39**）が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。 ●ネットワークリスタート実行後、「ネットワーク」メニューは約 30 秒間操作できなくなります。

セキュリティメニュー

「セキュリティ」メニューでは、本機のセキュリティ機能の設定を行うことができます。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書は大切に保管してください。
「セキュリティ」メニューを操作するには、以下の手順に従い、セキュリティパスワードを入力してください。

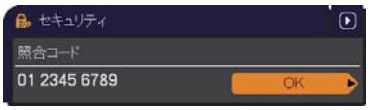
1．「パスワードを入力してください。」を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「パスワードを入力してください。」ダイアログが表示されます。

2．カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが再度表示されます。



■セキュリティパスワードを忘れた場合

1．「パスワードを入力してください。」ダイアログが表示されている間に、**RESET** ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と **INPUT** ボタンを同時に3秒間押すと、「セキュリティ／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。



2．10 桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて

お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター）　TEL 0120-3121-19

までご連絡ください。確認後、パスワードをご連絡いたします。

お知らせ

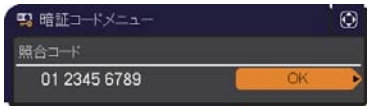
●工場出荷時、セキュリティパスワードは
<CP-X8170J>：3805　<CP-WX8265J>：2205　<CP-WU8460J>：3905
に設定されています。セキュリティパスワードは変更できます（📖 **下記**）。工場出荷時のパスワードはできるだけ早く変更してください。
●間違ったパスワードを 3 回入力すると、電源が切れます。それ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
●「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。

設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	セキュリティパスワードを変更することができます。 1)「新パスワードを入力してください」ダイアログで、カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で新パスワードを入力してください。 2) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。 3) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、新しいセキュリティパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間に新しいパスワードをメモしてください。 **ENTER** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ダイアログが閉じます。 **お知らせ** ●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。

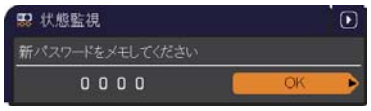
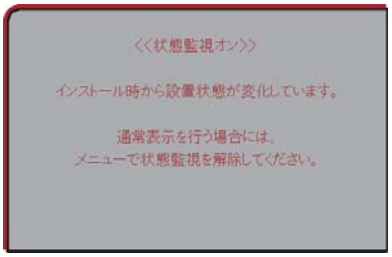
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイスクリーンパスワード	マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。 **■マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）** 1) カーソルボタン▲で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 2) カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼でパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。 3) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」（📖**2-21**）、および「マイスクリーンロック」（📖**2-21**）を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。 **お知らせ** ●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。 **■マイスクリーンパスワード機能を無効にする** カーソルボタン▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。 登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると、マイスクリーンパスワード機能は無効になり、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力するとメニューが閉じます。 **■ マイスクリーンパスワードを忘れた場合** 1) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。 2) 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせ、 **お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。

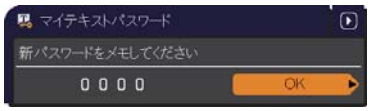
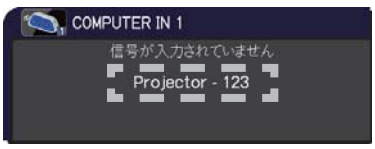
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
暗証コードロック	暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されないかぎり、本機を使用できなくする機能です。 **■暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）** 1) カーソルボタン▲で、暗証コードロック 有効 / 無効メニューで「有効」を選択すると、「暗証コードを入力してください。」ダイアログが表示されます。 2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶と、**COMPUTER 1** ボタンまたは **INPUT** ボタンで、4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください。」ダイアログが表示されます。 3) 同じ暗証コードを再度入力してください。暗証コードの登録が完了します。 「暗証コードを入力してください。」ダイアログ、および「暗証コードを再入力してください。」ダイアログは、表示されてから約 55 秒何も入力しないと閉じます。 暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に電源を入れるたびに、暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを 5 分間以内に入力しない限り本機を使用できなくなります。 **お知らせ** ●暗証コードを忘れないようにしてください。 ●この機能は、一度本機の電源を完全に切った（🕮1-37）後で、再度電源を入れないと有効になりません。 **■暗証コードロック機能を無効にする** カーソルボタン▼で、暗証コードロック有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「暗証コードを入力してください。」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。 間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから約5分間以内に暗証コードを入力しないと、ランプが消灯します。 **■暗証コードを忘れた場合** 1）本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、**RESET** ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と **INPUT** ボタンを同時に、3秒間押してください。「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。  2）10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせ、 **お客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター)　TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。 **お知らせ** ●ダイアログが表示されてから約5分間以内に暗証コードを入力しないと、ランプが消灯します。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
状態監視	本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、この機能を無効にしない限り本機を使用できなくすることができます。 **■状態監視機能を有効にする** 1) カーソルボタン▲で、状態監視 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。現在の設置状態が記録され、「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 2) カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼でパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。  **ENTER** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、状態監視 有効 / 無効メニューに戻ります。 状態監視機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に本機の電源を入れたときの設置状態（前後の傾き、設置方法 (📖**2-17**)）が、記録されている設定と異なると、右の状態監視のアラームが表示され、本機は入力信号を表示しなくなります。状態監視のアラームは約 5 分間表示されます。この間にパスワードを入力して状態監視機能を無効にしないと、ランプが消灯します。  **お知らせ** ●状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。 ●この機能は、一度本機の電源を完全に切った（📖**1-37**）後で、再度電源を入れないと有効になりません。ただし、キーストン補正は電源を切る前から調節できなくなります。 ●状態監視 有効 / 無効メニューで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。 **■状態監視機能を無効にする** カーソルボタン▼で、状態監視 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録された状態監視パスワードを入力すると、状態監視機能は無効になり、状態監視 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。 **■状態監視パスワードを忘れた場合** 1) カーソルボタン▲ / ▼で、状態監視 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。 2) 10 桁のパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて **お客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。

（次ページにつづく）

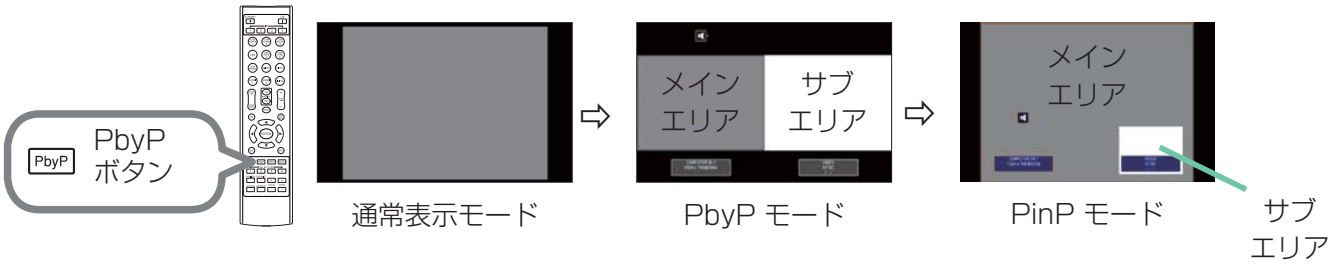
設定項目	操作内容
マイテキスト パスワード	マイテキストの上書きや表示設定の変更を防止することができます。 **■マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）** 1) カーソルボタン▲で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 2) カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼でパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。  カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 マイテキストパスワードを設定すると、「マイテキスト表示」（🕮 **下記**）、「マイテキスト入力」の操作ができなくなります。 **■マイテキストパスワード機能を無効にする** カーソルボタン▼で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると、マイテキストパスワード機能は無効になり、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。 **■マイテキストパスワードを忘れた場合** 1) カーソルボタン▲ / ▼で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。 2) 10 桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて **お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19** までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。
マイテキスト 表示	カーソルボタン▲ / ▼で、マイテキストの表示／非表示を切り替えられます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、初期画面 (🕮**2-20**) と「入力_インフォーメーション」ダイアログ (🕮**2-35**) に、登録したマイテキストが表示されます。  **お知らせ** ●「マイテキストパスワード」（🕮 **上記**）が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイテキスト入力	初期画面や「入力 _ インフォーメーション」ダイアログに表示する、マイテキストを登録することができます。 **■マイテキストを入力する** 最初の 3 行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。 カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して入力してください。 **RESET** ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と **INPUT** ボタンを同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。 マイテキストは 1 行につき最大 24 文字入力できます。 **■マイテキストを編集する** カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、マイテキストが表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。 **■マイテキストを保存する** テキストの入力・編集が終わったら、1 番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 お知らせ ●この項目は、「マイテキストパスワード」（📖2-49）が「無効」になっているときのみ操作できます。
セキュリティインジケータ	カーソルボタン▲/▼で、**SECURITY** インジケータでの、本機のセキュリティ表示の有効／無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、「暗証コードロック」（📖2-47）または「状態監視」（📖2-48）のいずれかが有効で、本機がスタンバイ状態のとき、**SECURITY** インジケータ（📖1-13）が黄色に点滅します。
スタックロック	カーソルボタン▲/▼で、「スタック」メニュー（📖2-33, 34）の設定をロックすることができます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、「スタック」メニューの設定を変更できなくなります。 簡易スタック機能についての詳細は「簡易スタック」（📖2-66～94）をご参照ください。

2 画面表示（PbyP/PinP）

PbyP / PinP は、メイン、サブの 2 つのエリアに分割された画面に、2 つの異なる映像を表示する機能です。



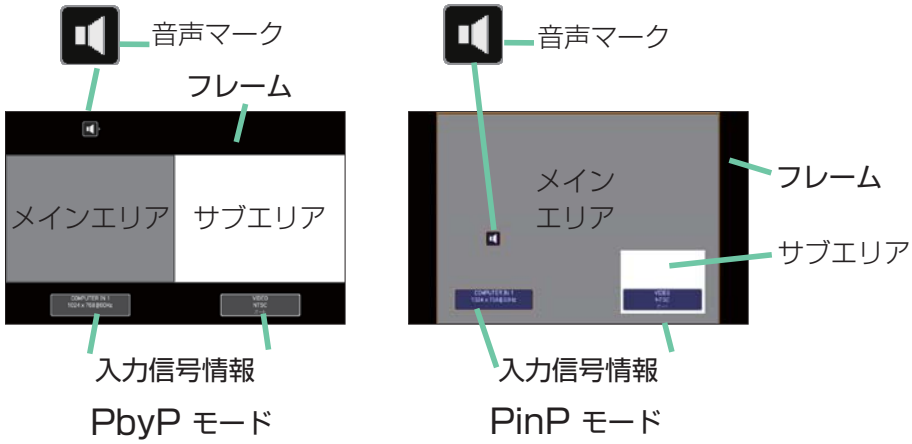
リモコンの **PbyP** ボタンを押すと、PbyP モードを開始します。もう一度 **PbyP** ボタンを押すと、PinP モードに入ります。**PbyP** ボタンが押される前に表示していた映像がメインエリアに表示されます。ほとんどの操作は、メインエリアにのみ有効です。音声もまた、メインエリア側のみ出力されます。もう一度 **PbyP** ボタンを押すと、PinP モードを終了します。

お知らせ

- **LAN** 端子、または **USB TYPE A** ／ **B** 端子からの映像を表示している時に **PbyP** ボタンを押すと、メインエリアに、異なる端子からの映像が表示されます。
- PbyP/PinP モードで OSD メニューを表示させるにはリモコンの **MENU** ボタンまたは操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼を使用します。
- PbyP/PinP モードの場合、使用することができない機能があります。
- 2 画面表示モード中のみ使用できないボタンを押した場合には、無効なボタンが押された時のメッセージ（📖4-39）が表示されない場合があります。
- 2 画面表示モード中、使用できない機能は、本機のメニュー上で灰色表示され、選択することができません。

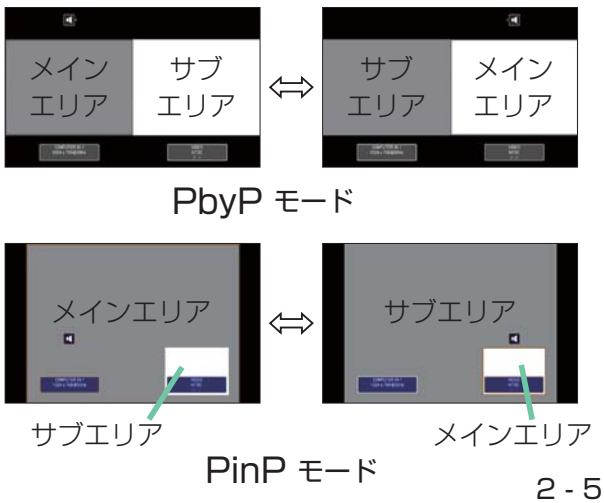
設定情報

PbyP/PinPの開始から数秒間、設定情報が表示されます。各々のエリアの入力信号の情報が、また、メインエリア側には黄色い枠と音声の出力を示す音声マークが表示されます。この表示は、消えた後でもカーソルボタン◀／▶を押すと、再度表示されます。



メインエリアの移動

設定情報が表示されている間は、カーソルボタン◀／▶で、メインエリアを左右で交替させることができます。黄色い枠と音声マークは一緒に移動します。



入力信号の切り替え

2 画面表示モード中に、リモコンの各映像入力端子を選択するボタンや、操作パネルのINPUT ボタンを押すと、メインエリア側の入力信号を選択するダイアログが表示されます。カーソルボタン▲／▼で信号を選択してください。サブエリア側の入力信号を変更したい場合は、カーソルボタン◀／▶でメインエリアを交替させてから、入力信号を選択してください。
同じ入力信号を左右両方の画面に表示させることはできません。同時に表示できる信号の組み合わせは下表の通りです。×印の付いている組み合わせは、表示できません。

サブエリア / メインエリア	COMPUTER IN1	COMPUTER IN2	LAN	USB TYPE A	USB TYPE B	HDMI 1	HDMI 2	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
COMPUTER IN1	X	O	X	X	X	O	O	O	O	O
COMPUTER IN2	O	X	X	X	X	O	O	O	O	O
LAN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
USB TYPE A	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
USB TYPE B	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
HDMI 1	O	O	X	X	X	X	O	O	O	O
HDMI 2	O	O	X	X	X	O	X	O	O	O
COMPONENT	O	O	X	X	X	O	O	X	O	O
S-VIDEO	O	O	X	X	X	O	O	O	X	O
VIDEO	O	O	X	X	X	O	O	O	O	X

PbyP モード

PinP モード

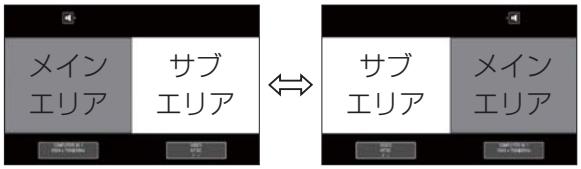
お知らせ

- PbyP/PinP モード中は、「その他」メニューの「チャンネルスキップ」で「スキップ」に設定されている端子の組み合わせであっても、上表で、○印が付いているものは、選択して表示することができます。

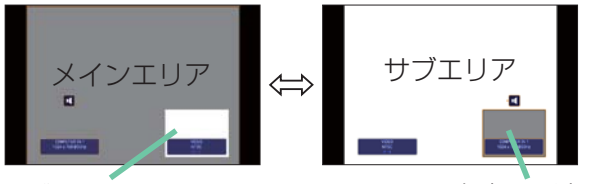
（次ページにつづく）

PbyP / PinP 画面入れ替え

「PbyP / PinP 画面入れ替え」を割り当てたMY BUTTONボタンを押すと、設定変更なしに、メインとサブのエリアの位置が入れ替わります。



PbyP モード



PinP モード

お知らせ

●信号によっては、通常モードで適切に表示することができても、PbyP/PinP モードでは正確に表示できない場合があります。

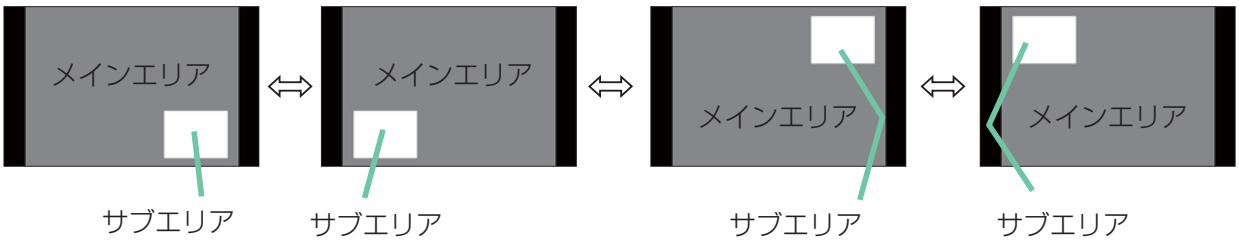
PbyP モードでメインエリアのサイズを変更する

リモコンのカーソルボタン▲/▼を使用して、PbyPモードのメインエリアのサイズを変更してください。

PinP モードのサブエリアの位置を変更する

1．「スクリーン」メニューの「PinP位置」を選択します。

2．リモコンのカーソルボタン▲/▼を使用して、PinPモードのサブエリアの位置を変更します。



プレゼンテーションツール

本機では、プレゼンテーションを簡単に、すばやく行うための、以下の 3 つの便利なツールをご利用頂けます。

■ **PC レス プレゼンテーション**（🕮 下記）

■ **USB ディスプレイ**（🕮2-63）

■**ネットワークプレゼンテーション**（🕮3-13）

ネットワークプレゼンテーションをご利用いただくには、本機をネットワークに接続する必要があります。
詳細は【ネットワーク編】および "LiveViewer" の取扱説明書をご参照ください。

■ 描画機能

描画機能は、**USB TYPE A** 端子に接続したペンタブレットや USB マウスを使って、プロジェクターの画面上に画を描く機能です。詳細は、周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

PC レス プレゼンテーション

USB TYPE A 端子からの映像信号を選択すると、PC レス プレゼンデーションを開始します。
PC レス プレゼンテーションでは、本機の **USB TYPE A** 端子に挿入された USB メモリの画像データを、以下の 3 つの表示モードで表示させることができます。

■**サムネイルモード**（🕮2-55）

メモリに保存された画像ファイル、フォルダを並べて縮小表示します。
PC レスプレゼンテーション開始時は、サムネイルモードで表示します。

■**フルスクリーンモード**（🕮2-59）

1 つの画像を画面にいっぱいに表示します。

■**スライドショーモード**（🕮2-61）

フォルダ内の画像を順繰りに表示します。

対応記録メディアとファイル形式

■**対応記録媒体**

− USB メモリ（USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダ）

■**対応記録媒体フォーマット**

− FAT12 ／ FAT16 ／ FAT32（NTFS には対応していません。）

■**対応ファイル形式**

− JPEG（.jpeg, jpg）（プログレッシブエンコード JPEG には対応していません。）
− Bitmap（.bmp）（16bit、および圧縮形式の BMP には対応していません。）
− PNG（.png）（インターレース PNG には対応していません。）
− GIF（.gif）
−動画（.avi、.mov） −対応動画形式：Motion JPEG
−対応音声形式：WAV（リニア PCM、ステレオ 16bit）、IMA-ADPCM

お知らせ

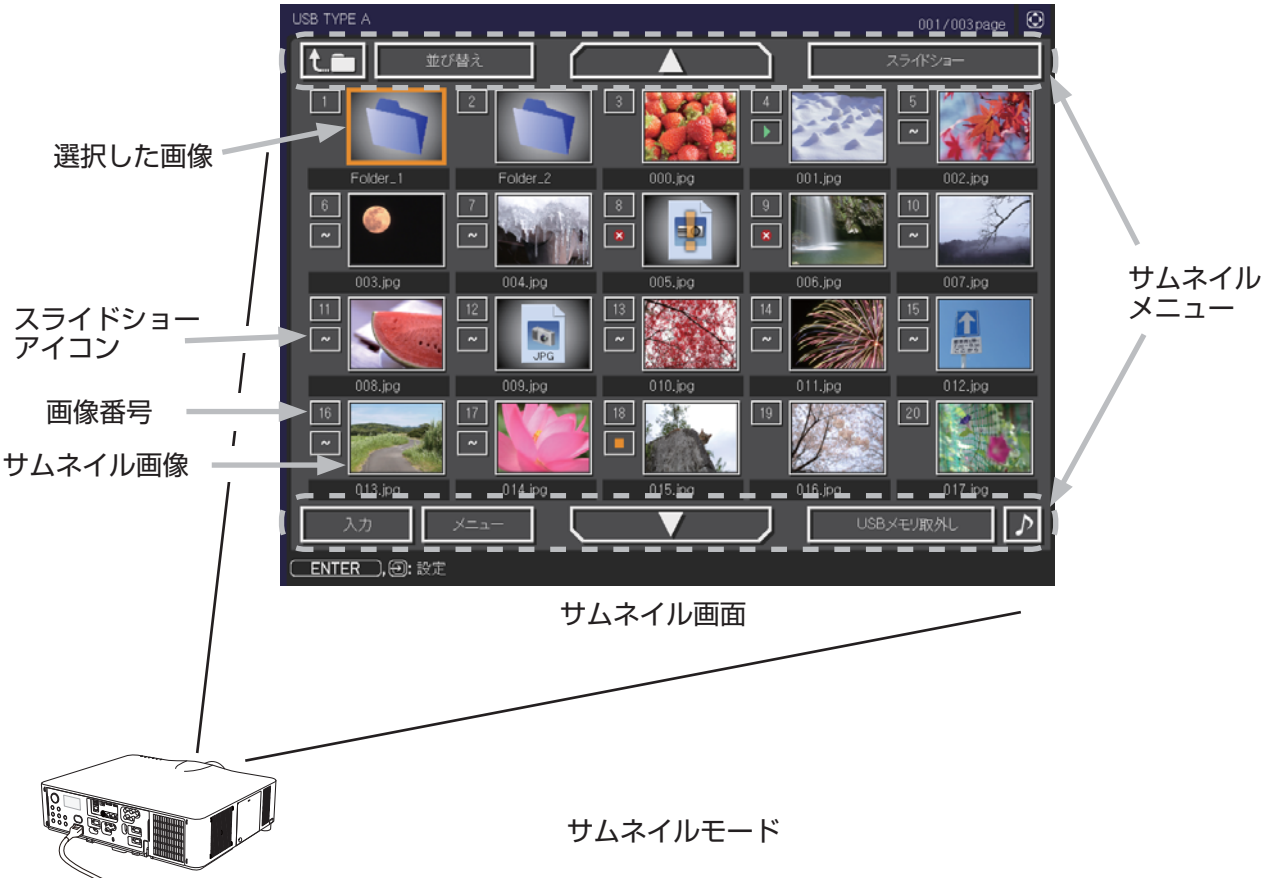
●セキュリティ USB メモリは正常に動作しない場合があります。
● USB メモリやハブを挿入したり取外すときにはご注意ください。
●以下の解像度より大きいファイルは表示されません。

＜ CP-X8170J＞	：1024 × 768（静止画） 768 × 576（動画）
＜ CP-WX8265J ＞	：1280 × 800（静止画） 768 × 576（動画）
＜ CP-WU8460J ＞	：1920 × 1200（静止画） 768 × 576（動画）

● 解像度が 36 × 36 より小さいファイルは表示されません。また、解像度が 100 × 100 より小さいファイルは表示されない場合があります。
●フレームレートが 15fps 以上、またはビットレートが 20Mbps 以上の動画は表示できません。
●対応しているファイル形式でも、一部のファイルは表示できない場合があります。また、対応しているファイル形式、動画形式と音声形式の組み合わせであっても、動画を再生できない場合があります。
●サムネイルモードで画像データの内容（サムネイル画像）を表示できない場合は、枠のみ表示されます。

サムネイルモード

サムネイルモードでは、USB メモリに保存された画像をサムネイル表示し、画面の上下にサムネイルメニューが表示されます。1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。
PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。サムネイルモードからは、フルスクリーンモード、およびスライドショーモードに移ることができます。



■スライドショーアイコン

画像番号の下に表示されているアイコンは、以下のようにスライドショーモードでの画像の設定を示しています。

アイコン	表示内容
	スライドショーで表示されます。
	スライドショーで最初に表示されます。
	スライドショーで最後に表示されます。
	スライドショーでは表示されません。
	スライドショーでは、この画像のみが表示されます。

（次ページにつづく）

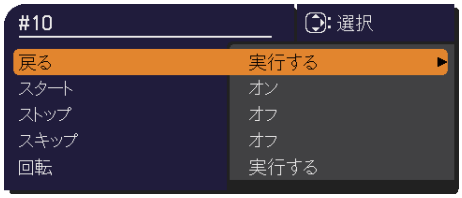
■サムネイルモードの操作

サムネイルモードでは、操作パネル、リモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	WEB リモコン	
▲ / ▼ / ◀ / ▶	▲ / ▼ / ◀ / ▶	▲ / ▼ / ◀ / ▶	カーソルを移動します
PAGE UP PAGE DOWN	–	[前ページ] [次ページ]	ページを切り替えます
ENTER	INPUT	[決定]	・フォルダを選択していた場合は、フォルダを開き、フォルダ内のファイルやフォルダをサムネイル表示します。 ・サムネイル画像を選択していた場合は、画像をフルスクリーンモードで表示します。 ・画像番号を選択していた場合は、画像の設定メニューを表示します（📖 **下記**）。

■画像の設定メニュー

画像番号を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、選択されていた画像の設定メニューが表示されます。画像の設定メニューでは、選択された画像の、スライドショーモードなどでの表示を設定できます。



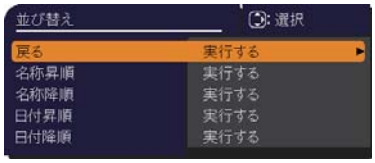
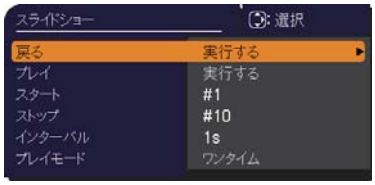
設定項目	操作内容
戻る	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最初の画像になります。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最後の画像になります。
スキップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンにすると、選択した画像はスライドショーモードでは表示されなくなります。
回転	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択された画像が 90 度時計回りに回転します。

お知らせ

- ボタン操作、および画像の設定メニューの操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- 「スタート」、「ストップ」、「スキップ」、「回転」の設定は、プレイリスト（📖**2-62**）に保存されます。ただし、USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用に設定されている場合は変更できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**INPUT** ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニューの「入力」（📖**2-57**）を使用してください。

サムネイルメニュー

サムネイル画面の上下に表示される、サムネイルメニューから、PC レス プレゼンテーションを操作することができます。
カーソルボタンで各項目を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。

設定項目		操作内容
		上位のフォルダに移動します。
並び替え		ファイルやフォルダを並び替えます。 
	戻る	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
	名称昇順	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、名称の昇順に並べ替えます。
	名称降順	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、ファイル名称の降順に並べ替えます。
	日付昇順	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、ファイルの日付の昇順に並べ替えます。
	日付降順	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、ファイルの日付の降順に並べ替えます。
▲ / ▼		ページを切り替えます。
スライドショー		スライドショーを設定、または開始します。 
	戻る	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。
	プレイ	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すとスライドショーを開始します。
	スタート	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを開始する画像番号を設定します。
	ストップ	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを終了する画像番号を設定します。
	インターバル	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間（1s ～ 999s）を設定します。
	プレイモード	カーソルボタン◀ / ▶でスライドショーの再生モードを設定します。 ■**「ワンタイム」**：スライドショーを 1 回再生します。 ■**「エンドレス」**：スライドショーの終了の画像を表示すると再び最初に戻り、繰り返して再生を続けます。
入力		PC レス プレゼンテーションを終了し、映像信号の入力端子を **USB TYPE B** 端子に切り替えます。
メニュー		本機のメニューを表示します。
USB メモリ取外し		本機から USB メモリを取り外すときに使用します。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、安全に USB メモリを取り外せるようになります。 いったん「USB メモリ取外し」を実行すると、再度 **USB TYPE A** 端子に USB メモリを挿入するまで、本機は、USB メモリを認識しなくなります。
		音声データを含むファイルを再生したときの、音声出力（再生）を設定します。

お守りください

● USB メモリを取り外す時は、データ保護のため、必ず先にサムネイルメニューから「USB メモリを取外し」を実行するか、本機の電源を切ってください。

（次ページにつづく）

お知らせ

●本機のその他のメニューが表示されている間は、サムネイルメニューは操作できません。
●音声データを含む動画を再生する場合は、画質が劣化する場合があります。画質を優先させる場合は、サムネイルメニューのサウンドボタン［♪］で、音声の再生を無効にしてください。
●「スライドショー」の、「スタート」、「ストップ」、「インターバル」、「プレイモード」の設定は、プレイリスト（🕮2-62）に保存されます。ただし、USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用に設定されている場合は変更できません。
●「インターバル」を数秒間と短く設定すると、画像ファイルのサイズが大きい、画像の保存されているフォルダが深い、同じフォルダに保存された画像ファイルが多いなどの場合、ファイルの読み込みに、設定した時間より長くかかる場合があります。
●ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイル画像の代わりに、以下のエラーアイコンを表示します。

———— ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。

サムネイル画像を表示することができないファイルは、ファイル形式アイコンで表示します。

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードでは、本機の画面いっぱいに 1 つの画像を表示します。
フルスクリーンで表示するには、サムネイル画面で画像を選択し、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンを押すか、WEB リモコンで［決定］ボタンをクリックしてください

■フルスクリーンモードでの静止画の操作

フルスクリーンモードでは、操作パネル、リモコン、WEB リモコンの各ボタンで、以下の様に静止画の再生を操作することができます。。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	WEB リモコン	
▼ / ▶ / PAGE DOWN	▼ / ▶	▼ / ▶ / ［次ページ］	次の画像を表示します。
▲ / ◀ / PAGE UP	▲ / ◀	▲ / ◀ / ［前ページ］	前の画像を表示します。
ENTER	INPUT	［決定］	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**INPUT** ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニューの「入力」（📖**2-57**）を使用してください。

（次ページにつづく）

■フルスクリーンモードでの動画の操作

フルスクリーンモードで動画の再生中に、カーソルボタン、**ENTER** ボタン、**INPUT** ボタンのどれか、または WEB リモコンのカーソルボタン、または［決定］ボタンを押すと、右のような動画操作パネルが画面に表示されます。動画操作パネルが表示されている間は、、操作パネル、リモコン、WEB リモコンの各ボタンで、以下の様に動画の再生を操作することができます。

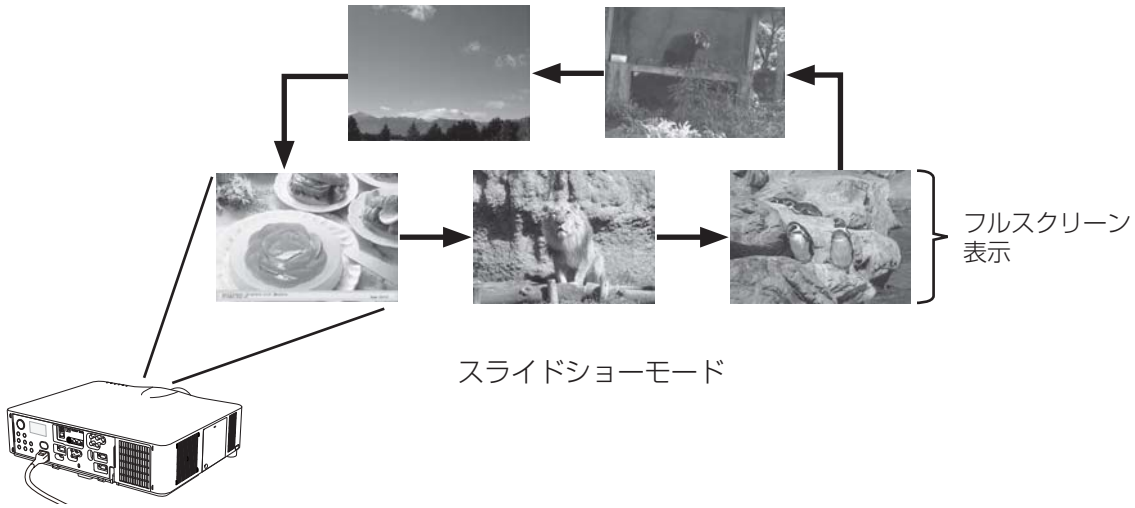
操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	WEB リモコン	
▲	▲	▲	（再生）／（一時停止）を切り替えます
▶	▶	▶	(FF) 早送り
◀	◀	◀	(REW) 巻き戻し
ENTER	INPUT	［決定］	（停止）サムネイルモードに戻ります
PAGE DOWN	–	［次ページ］	次の画像を表示します。
PAGE UP	–	［前ページ］	前の画像を表示します。

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**INPUT** ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニューの「入力」（📖2-57）を使用してください。

スライドショーモード

スライドショーモードでは、1 つのフォルダに保存された一連の画像を、フルスクリーン表示で、順ぐりに表示します。スライドショーでは、サムネイル画面で表示される、画像番号の順に画像が表示されます。スライドショーの表示設定は、サムネイルモードでの画像の設定メニュー（🕮2-56）またはサムネイルメニュー（🕮2-57）、およびプレイリスト（🕮2-62）から変更できます。設定は、プレイリストに保存されます。
スライドショーを開始するには、サムネイルメニューの「スライドショー」から「プレイ」を選択し、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンを押すか、WEB リモコンで［決定］ボタンをクリックしてください



スライドショーモード

■スライドショーモードの操作

スライドショーモードでは、操作パネル、リモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	WEB リモコン	
ENTER	INPUT	［決定］	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- スライドショーは、「スライドショー」を割り当てた **MY BUTTON（1 ～ 4）**（🕮2-28）、および WEB リモコン（🕮3-34）からも開始できます。
- PC レス プレゼンテーション中は、**INPUT** ボタンで入力端子を切り替えることはできません。いったん本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニューの「入力」（🕮2-57）を使用してください。
- サムネイルメニューで「プレイモード」が「ワンタイム」に設定されていると、スライドショーが終了すると、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** を押すか、WEB リモコンで［決定］ボタンをクリックするまで、最後の画像を表示し続けます。
- USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用に設定されている場合は、スライドショーの各設定は変更できません。

プレイリストについて

プレイリストは、表示される画像ファイルとその表示設定を決める、DOS 形式のテキストファイルです。
プレイリストのファイル名は "playlist.txt" です。プレイリストは、PC レス プレゼンテーションを開始したとき、またはスライドショーを設定したときに選択していた画像ファイルがあるフォルダに自動的に作成されます。
プレイリスト、およびそのファイル名はコンピュータ上で編集することができます。

プレイリストの記述の順番、内容は、以下の通りです。
それぞれの情報は「：」で区切られます。また、各行の最後にも「：」が必要です。2 行目以降は、1 ファイルに付き 1 行で記述します。

1 行目	START ＊ :STOP ＊ :INTERVAL ＊ :MODE ＊ :
2 行目	[ファイル名] : [表示期間] : [回転設定] : [スキップ] :
⋮	⋮ ⋮ ⋮ ⋮

START（「スタート」）、STOP（「ストップ」）、INTERVAL（「インターバル」）、MODE（「プレイモード」）、回転設定（「回転」）、スキップ（「スキップ」）は、画像の設定メニュー（📖2-56）、またはサムネイルメニュー（📖2-57）で設定できます。

START ＊　：スライドショーで最初に表示する画像番号を指定します。
STOP ＊　：スライドショーで最後に表示する画像番号を指定します。
INTERVAL ＊：スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間を、1 ～ 999（秒）の範囲で指定します。
MODE ＊　：スライドショーの再生モードを指定します。
　0 = ワンタイム　1 = エンドレス
[表示期間]　：スライドショーでの表示期間を個別に指定します。
　0 ～ 999900（ミリ秒）の範囲で、100 ミリ秒単位で指定します。
[回転設定]　：画像の回転を設定します。
　rot1 = 時計方向に 90 度回転　rot2 = 180 度回転
　rot3 = 時計方向に 270 度回転
[スキップ]　：SKIP を設定すると、スライドショーで表示されません。

（プレイリストの記述例）

```
START 2: STOP 5: INTERVAL 3: MODE 0:
001.jpg : :rot1 : :      ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは表示されません
002.jpg :600 : : :       ←スライドショーで最初に 0.6 秒間表示されます。
003.jpg :700 :rot1 : :   ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは 0.7 秒間表示されます。
004.jpg : : :SKIP :      ←スライドショーでは表示されません
005.jpg : :rot2 : :      ← 180 度回転、スライドショーで最後に 3 秒間表示され、002.jpg に戻ります。
006.jpg :100 :rot2 : :   ←スライドショーでは表示されません。
```

お知らせ

- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、改行コードを含めて 255 文字までです。これを超えるとプレイリストは無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストに登録できる画像ファイルは最大で 999 個です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルを登録します。フォルダ内にフォルダがある場合は、最大ファイル数はフォルダの数の分少なくなります。
- USB メモリが保護されているか、十分な空き容量が無い場合はプレイリストを作成できません。

USB ディスプレイ

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

お知らせ

●コンピュータ画面が下記の解像度よりも大きい場合、下記のサイズに縮小されてから本機へ転送されます。

<CP-X8170J>：1024 × 768（XGA）

<CP-WX8265J、CP-WU8460J>：1280 × 800（WXGA）

本機へ転送された後も、本機のパネル解像度が上記より大きい場合でも、縮めたサイズのまま表示されます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

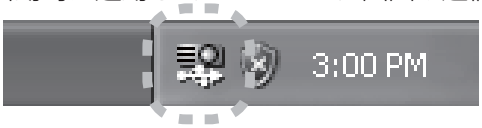
USB ケーブルを介して本機に画面を送信するための最小要件は以下の通りです。

－ OS　：Windows® XP Home Edition / Professional Edition
　　Windows Vista® Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate / Enterprise
　　Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise
　　Windows ® 8
　　Windows ® 8 Pro/Enterprise
－ CPU　：Pentium® 4（2.8GHz 以上）
－メモリ：512MB 以上
－ハードディスク空き容量　　：30MB 以上
－グラフィックインタフェース：16bit、XGA 以上
－ USB(A) 端子

USB ディスプレイの開始

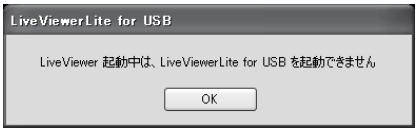
1．本機の **USB TYPE B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を USB ケーブルで接続します。
2．「その他」メニューの「USB TYPE B」（📖**2-26**）を「USB ディスプレイ」に設定します。
3．**USB TYPE B** 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識し、本機内のアプリケーション、"LiveViewer Lite for USB" が自動的に起動してコンピュータ画面の送信を開始します。

"LiveViewer Lite for USB" が起動すると、コンピュータのタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。



お知らせ

● "LiveViewer Lite for USB" が自動的に起動しない場合は、以下の手順に従ってください。
　1) [スタート] メニューから、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
　2) F:¥LiveViewerLiteForUSB.exe と入力し、[OK] をクリックします。
　　↑―― コンピュータで CD-ROM ドライブが F ドライブでない場合は、F の代わりに
　　CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。
●スクリーンセーバー動作中は、"LiveViewer lite for USB" が自動的に起動しません。
●パスワード保護のかかったスクリーンセーバーが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止します。送信を再開するには、スクリーンセーバーを終了させてください。
● "LiveViewer Lite for USB" は、弊社のホームページで最新版を入手してください。
　弊社ホームページ URL:　http://www.hitachi.co.jp/proj/
　ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。
● "LiveViewer Lite for USB" は、"LiveViewer"（📖**3-13**）実行中は起動できません。"LiveViewer" 実行中に USB ディスプレイを開始しようとすると、コンピュータ画面に右のメッセージが表示されます。



●ご使用のコンピュータにインストールされているアプリケーションによっては、"LiveViewer Lite for USB" で本機に映像を送信できない場合があります。
●ファイアウォール機能を備えたアプリケーションをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
●セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、"LiveViewer Lite for USB" の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。

右クリックメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると右のようなメニューが表示されます。

表示 ：メインメニューを表示します。タスクトレイのアイコンは表示されなくなります。

終了 ："LiveViewer Lite for USB" を終了します。

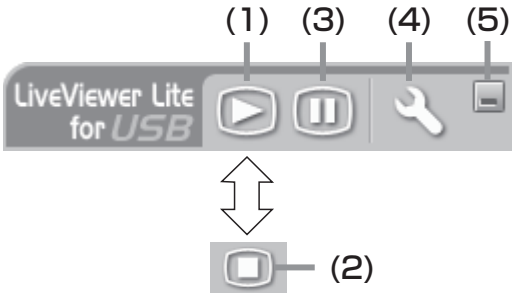
お知らせ

●右クリックメニュー以外でも、以下の方法で "LiveViewer Lite for USB" を終了することができます。
- USB ケーブルを外す。
- 映像入力端子を切り替える。
- 「その他」メニューの「USB TYPE B」（🕮2-26）を「マウス」に設定する。

● "LiveViewer Lite for USB" を再起動するには、USB ケーブルを外して再度接続するか、映像入力端子を一度切り替えて再度 **USB TYPE B** 端子を選択してください。

メインメニュー

右クリックメニューで「表示」を選択すると、右のようなメインメニューが表示されます。



(1) キャプチャ開始ボタン
本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。
画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン
コンピュータ画面の送信を停止します。
画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン
コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。
コンピュータ上での作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

(4) オプションボタン
オプションメニュー（🕮2-65）を表示します。

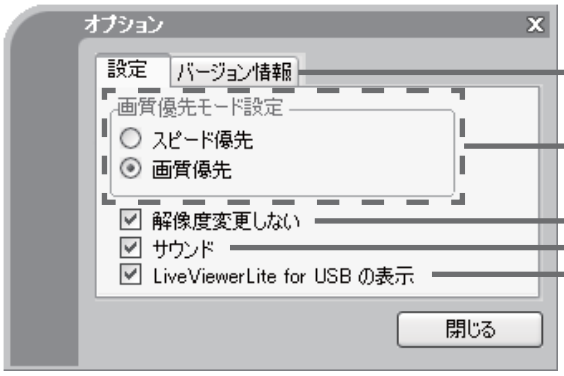
(5) 最小化ボタン
メインメニューを閉じ、コンピュータのタスクトレイにアイコンで表示します。

お知らせ

●キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

オプションメニュー

メインメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。



(1) 画像転送モード設定

"LiveViewer Lite for USB" は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。

JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

(2) 解像度変更しない

チェックマークを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

<CP-X8170J>：1024 × 768（XGA）

<CP-WX8265J、CP-WU8460J>：1280 × 800（WXGA）

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

(3) サウンド

チェックマークを入れると、音声を転送します。音声を転送すると、画質が劣化することがありますので、画質を優先させる場合は、チェックマークを外してください。

(4) LiveViewer Lite for USB の表示

"LiveViewer Lite for USB" の各メニューを投写画面に表示したくない場合は、チェックマークを外してください。ただし、Windows8 で LiveViewer を使用する場合は、常に "LiveViewer Lite for USB の表示" のチェックボックスをチェックしてください。

(5) バージョン情報

“LiveViewer Lite for USB" のバージョン情報を表示します。

お知らせ

- コンピュータの解像度を変えると画面のアイコンの配置が変わることがあります。
- 「音声」メニューの「音声入力設定」（📖2-19）で、USB TYPE B 端子の音声入力に、USB TYPE B 端子以外を設定している場合は、" サウンド " チェックボックスの設定は無効になります。
- USB TYPE B 端子を音声の入力に選択している場合で、本機の音量を最大まで上げてもまだ音が小さい、あるいは音が聞こえない場合は、コンピュータ側のオーディオユーティリティを確認し、音量を上げてみてください。

簡易スタック

簡易スタック機能は、本機を 2 台使用して 1 つの画面を投写する機能です。
2 台のプロジェクターを同時に動作させて 2 台分の明るい画面を投写することができます。2 台を RS-232C クロスケーブルで接続すると連結モードとなり、交互に使用したり、片方にアクシデントが発生したときに自動的にもう片方が代わりを務めるようにできます。これらの機能を簡易スタックと呼び、様々な使用法を提供します。

はじめに

簡易スタック時のご注意

簡易スタックの準備を始める前に、以下のご注意をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。その他に必要な情報がある場合は、販売店にご相談ください。

簡易スタックの特徴

お守りください

●連結モードは同じ機種 (2台) の組み合わせでのみ動作可能です。
●簡易スタックには、必ずフラットスクリーンをご使用ください。
ご使用になるスクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、2 台の画面がきれいに重なり合わないことがあります。
●本機の電源を入れてすぐは、本機内部の温度が上昇し、画面の位置や焦点がずれる場合がありますので、電源を入れて 20 分以上たってから、2 台の画面を重ね合わせてください。
●簡易スタックでご使用になる場合は、特に安定した場所に設置してください。また、本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけないようご注意ください。温度の変化や振動や衝撃を与えると、本機の位置が動き、重ね合わせた画面がずれることがあります。画面がずれた場合は、周囲が安定してからもう一度画面を重ね合わせてください。
●接続ケーブルの重みや突っ張りで、時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまうことがあります。ケーブルは、本機に負担がかからないよう接続してください。
●2台のプロジェクターが RS-232C ケーブルで接続され、メイン機がサブ機を制御する状態を連結モードといいます。連結モードをご使用になる場合は、外部から **CONTROL** 端子を経由して RS-232C コマンドを受け取ることができません。コマンドを使用して本機を制御する場合は、メイン機をネットワークに接続し、LAN 端子を経由してコマンドを送信してください。
●連結モードでご使用になる場合は、操作と設定の一部が制限されます。詳しくは（🕮**2-92,93**）を参照してください。

一般的な設置

⚠警 告

電源プラグ
を
コンセント
から抜け

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

●ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
▶設置器具は、本書の指定品をご使用になり、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。
▶天吊り (天井設置) などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけて落とさないようご注意ください。

●クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。

●調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。

●水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

⚠注 意

● 通風孔をふさがない
▶周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
▶ 2 台を並べて使用する場合は、お互いに 30cm 以上離して設置してください。
▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。

● 煙や湿気、ほこりの多いところには置かない。
▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

お守りください

●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。
●電波を発生する装置の近くに設置しないでください。

準備

簡易スタック

簡易スタックを使用すると、2台のプロジェクターの画面を簡単に重ねることができます。

連結モードと単体モード

簡易スタック機能には2つの使用モードがあります。
連結モードでは、2 台のプロジェクターを RS-232C（クロス）ケーブルで接続し、必要な設定を行うことで、2 台を連携して使用できます。2 台を自動的に交代させて使用する場合に便利です。
単体モードでは、2 台のプロジェクターを RS-232C（クロス）ケーブルで接続せずに各々独立して使用します。

連結モードと単体モードの遠隔操作について

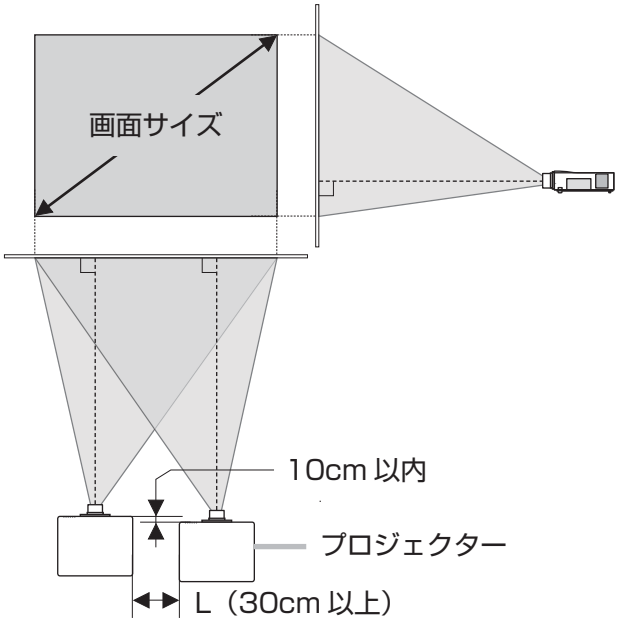
連結モードでは、片方のプロジェクターをメイン機に、もう一方をサブ機に設定します。リモコン操作はメイン機のみ動作し、サブ機の操作はメイン機を通して行います。メイン機、サブ機とも、操作するにはメイン機の操作パネルを操作するか、リモコンをメイン機に向けて操作します。詳しくは「連結モードの重要なお知らせ」（🕮2-83,84）をご覧ください。
単体モードではリモコンは各々動作するため、両方のプロジェクターを操作パネルで操作するか、片方は操作パネルで操作し、もう片方はリモコンで操作することをお勧めします。この場合、「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」（🕮2-31）で、リモコン操作をロックしたうえで、操作パネルで操作してください。

設置

安全にご使用頂くため、「簡易スタック時のご注意」（📖2-66）に加え、以下の簡易スタックの正しい使い方についてもお読みください。

●同じ機種のプロジェクターをご使用ください。
●プロジェクターを 2 台横に並べて設置してください。
●スクリーンがプロジェクターに対し直角であることを確認してください。
●設置の間、どちらかのプロジェクターをリモコン操作する場合は、他方を「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」（📖2-31）で、リモコン操作をロックしたうえで、操作パネルで操作することをおすすめします。
●時間がたつと、重ねた画面が動いてずれてしまう場合があります。その際は、もう一度画面を重ね合わせてください。
● 2 台のプロジェクターの間隔に対し、以下の推奨画面サイズ以上の大きさに画面を投写してください。

L：間隔［cm］	推奨画面サイズ［型］
30	200
50	250
100	380



連結モードの準備

RS-232C ケーブルを接続して連結モードをご使用になる場合は、2台のプロジェクターに以下の設定がされていることをご確認ください。正しく設定されていない場合、連結モードは正常に動作しません。

●「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖2-17）を「通常」に設定する。
●「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」（📖2-32）を「オフ」に設定する。
●「セキュリティ」メニューの「スタックロック」（📖2-50）を「オフ」に設定する。
「スタックロック」がオンに設定されている場合、簡易スタック関係のメニューは操作できません。以下の手順に従って、設置および設定の間はスタックロックをオフに設定してください。
(1) カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「セキュリティ」メニュー（パスワードを入力）-「スタックロック」（📖2-50）
「スタックロック」ダイアログが表示されます。
(2) カーソルボタン ▲ / ▼で「オフ」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。

片方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

片方のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(🕮1-41) をご参照ください。

⚠注 意

▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

お知らせ

●片方のプロジェクターは前上がり 9° 以内で設置してください。

片方のプロジェクターを準備する

1．片方のプロジェクターの電源を入れてください。

2．「設置」メニューの「設置方法」(🕮2-17) の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してください。

3．ズーム、フォーカス、レンズシフトダイヤルを使用して片方のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください (🕮1-38, 39)。また、必要に応じて、キーストン、コーナーフィットを使い画面の位置および形状を調節してください (🕮1-45, 46)。

お知らせ

●画面が「コーナーフィット」により調節されている場合は、「キーストン」による調節はできません。両方を使用する場合は、最初に「キーストン」による調節を行ってください。
●単体モードでご使用になる場合は「他方のプロジェクターの設置」(🕮2-71) へ進んでください。

4．MENU ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(🕮2-2) を参照ください。

5．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(🕮2-33)
スタックメニューが表示されます。

6．カーソルボタン ▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼で「サブ」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。

7．カーソルボタン▶を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。

8．連結モードでご使用になる場合、「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」(🕮2-31) で、リモコン操作をロックしてください。

お知らせ

●この後、片方のプロジェクターはリモコンで操作できなくなります。リモコン操作で２台のプロジェクターが同時に動作することを避けるために、リモコン操作をロックしてご使用になることをおすすめします。
●「スタックモード」の設定が終わると片方のプロジェクター（サブ機）はリモコン操作ができなくなります。リモコン操作が必要であれば、「スタックモード」を一度「オフ」に設定し、キーロックを外してください。

他方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

他方のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(📖1-41) をご参照ください。

⚠注 意

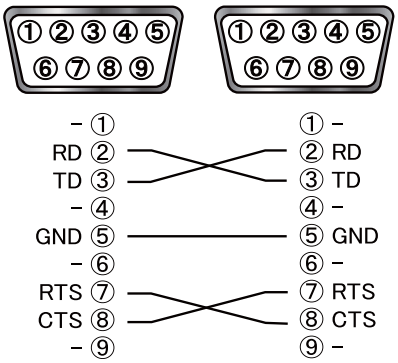
▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

お知らせ

●他方のプロジェクターは前上がり 9° 以内で設置してください。

プロジェクターを接続する

連結モードでご使用になる場合は、片方のプロジェクターの CONTROL 端子と他方のプロジェクターの CONTROL 端子を RS-232C ケーブルで接続してください。



他方のプロジェクターを準備する

1．他方のプロジェクターの電源を入れてください。

お知らせ

●画面が片方のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合は、アジャスタボタンとアジャスタ脚で、傾きを調節してください。

2．「キーストン」、「コーナーフィット」の調整を一度リセットしてください (📖1-45)。

お知らせ

●画面が「コーナーフィット」により調節されている場合は、「キーストン」による調節はできません。両方を使用する場合は、最初に「キーストン」による調節を行ってください。
●「設置」メニューの「設置方法」(📖2-17) の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。

3．片方のプロジェクターの画面にうまく重なるように、ズーム、フォーカス、レンズシフトを使用して他方のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください (📖1-38, 39)。

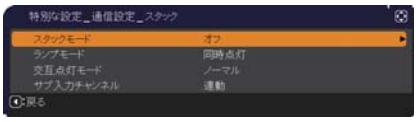
お知らせ

●キーストン、コーナーフィットを使い、画面の位置、形状を調節してください。キーストン、コーナーフィットでは画面のサイズを大きくすることはできません。あらかじめ、他方のプロジェクターの画面の中に、片方のプロジェクターの画面が完全に含まれるように設置しておくことが重要です。
●他方のプロジェクターをリモコンで操作する際に、片方のプロジェクターも反応してしまうため、他方のプロジェクターを操作パネルで操作することをおすすめします。
●単体モードを使用する場合は、「単体モードの場合」(📖2-75) へ進んでください。

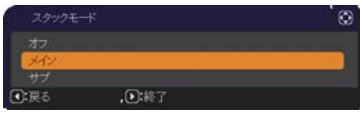
(次ページにつづく)

4．**MENU** ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(📖**2-2**) を参照ください。

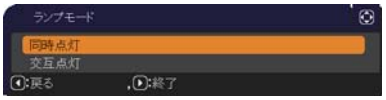
5．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖**2-33**) スタックメニューが表示されます。



6．カーソルボタン ▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、
カーソルボタン▶を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。カーソルボタン ▲ / ▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン◀を押して前のメニューに戻ってください。



7．カーソルボタン ▲ / ▼で「ランプモード」を選択し、カーソルボタン▶を押して「ランプモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼で「同時点灯」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。



8．カーソルボタン▶を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。

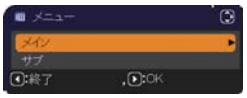
メイン機とサブ機の設定確認

1．メイン機を操作するため、リモコンのメニューボタンを押してください。

お知らせ

●連結モードでご使用になる場合、メイン機はリモコン信号を受信することができますが、サブ機はリモコン信号には反応しません。

2．下のダイアログが画面の右下に表示されます。



メイン機（他方）

サブ機（片方）

3．カーソルボタン▶を押すとダイアログは閉じ、「メイン」を選択していた場合はメイン機のメニューが表示されます。
カーソルボタン◀を押すとダイアログは閉じ、メニューも消えます。

お知らせ

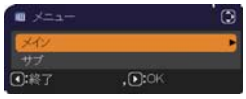
●これらのダイアログが表示されない場合は、RS-232C ケーブルの接続 (📖**2-71**) を確認し、「スタックモード」ダイアログでメイン機およびサブ機の設定を確認してください。(📖**2-77**)

画面位置の微調節

2 台のプロジェクターの画面を重ね合わせるには、「コーナーフィット」を使ってメイン機の画面サイズと位置を調節します。

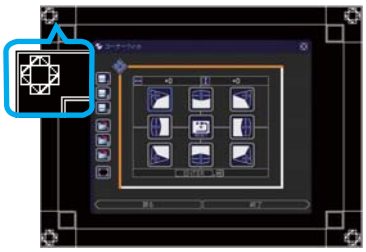
連結モードの場合

1．リモコンまたはメイン機の操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で「メイン」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機のメニューが表示されます。

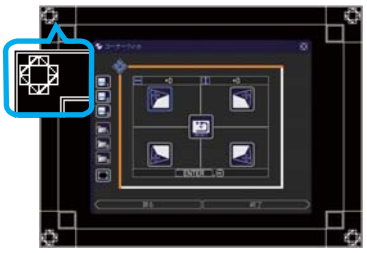


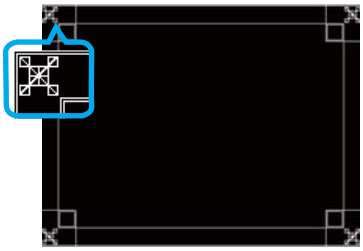
メイン機の画面
（他方のプロジェクター）

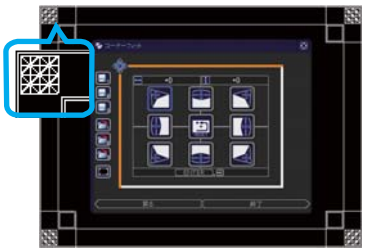
2．リモコンまたはメイン機の操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機、サブ機の画面にそれぞれの連結モード用のテンプレート画面が表示され、メイン機の画面には「キーストン_コーナーフィット」ダイアログが表示されます。「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。

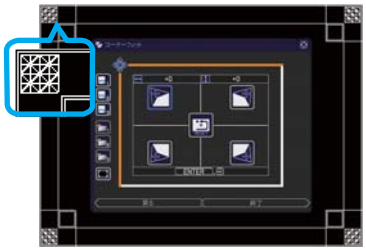

メイン機の画面
（他方のプロジェクター）
＜ CP-X8170, CP-WX8265 ＞

3．「 画面のひずみを補正する」(🕮**1-45, 46**) を参考に、四隅の目安がきれいに重なるよう、メイン機の画面のサイズと形状をサブ機の画面に合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。


メイン機の画面
（他方のプロジェクター）
＜ CP-WU8460 ＞


サブ機の画面
（片方のプロジェクター）


重なった画面
＜ CP-X8170, CP-WX8265 ＞


重なった画面
＜ CP-WU8460 ＞

単体モードの場合

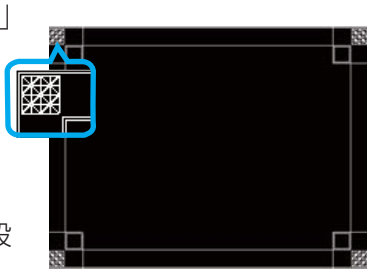
1．片方のプロジェクターに向けてリモコンの **MENU** ボタンを押してください。メニューが表示されます。

2．カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で「詳細メニュー」を表示させ、「スクリーン」メニューの「テンプレート」(🕮**2-23**) で「スタック」を選択し、テンプレート画面を表示させてください。

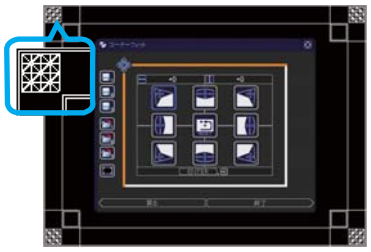
3．他方のプロジェクターの操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。メニューが表示されます。

4．カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。
「スタック」のテンプレート画面と「キーストン_コーナーフィット」ダイアログが表示されます。
「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。
ダイアログの左下のテストパターンアイコン（▣）をカーソルボタン ◀ / ▼ で選択してください。**ENTER** ボタンまたは **MENU** ボタンを押すとテストパターンがあらわれ、もう一度押すと消えます。

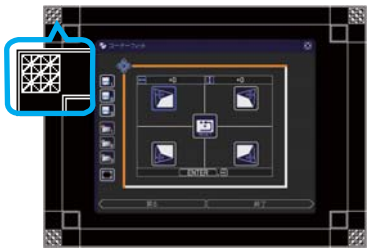
5．「画面のひずみを補正する」(🕮**1-45, 46**) を参考に、もう片方の画面に、サイズと形状を合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。



スタックのテンプレート



コーナーフィット
＜ CP-X8170, CP-WX8265 ＞



コーナーフィット
＜ CP-WU8460 ＞

お知らせ

- 「コーナーフィット」の詳細については、【応用編】の「簡単メニュー」の「コーナーフィット」(🕮**2-4**)、または「設置」メニューの「コーナーフィット」(🕮**2-16**) をご参照ください。
- 必ずフラットスクリーンをご使用ください。スクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、「コーナーフィット」で四辺のたわみを調節しても、画面をきれいに重ね合わせるのは大変難しくなります。
- 「コーナーフィット」で画面を重ね合わせた後でも、入力信号によっては映像がずれてしまうことがあります。その際は、以下の方法を試してください。
  - **AUTO** ボタンまたは「表示」メニューの「オートアジャスト実行」(🕮**2-11**) で画面の自動調整を実行する。
  - 「表示」メニューの「垂直位置」(🕮**2-10**)、「水平位置」を調節する。
  - 「入力」メニューの「解像度」(🕮**2-15**) を2 台共同じ設定にする。

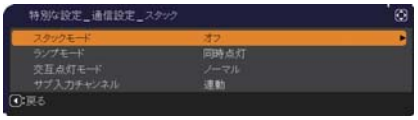
スタックメニュー設定

「スタック」メニューを使って連結モードの設定をします。

お知らせ

●単体モードでご使用になる場合は、本章を読んで頂く必要はありません。
●ここまでの設置手順で行った設定を変更する必要のない方は「ランプモードを選択する」(📖2-78) へ進んでください。
●「連結モードの重要なお知らせ」をお読みください。(📖2-83)

スタックメニューを表示する



カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」−「通信設定」−「スタック」(📖2-33，34)

画面に「スタック」メニューが表示されます。
連結モードの設定は本メニューで行います。

お知らせ

●2台のプロジェクターで以下の設定を確認してください。正しく設定されていない場合、「スタック」メニューは選択できません。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」(📖2-17) ： 「通常」
- 「その他」メニューの「特別な設定」−「通信設定」−「通信タイプ」(📖2-32) ： 「オフ」
- 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(📖2-50) ： 「オフ」

メイン、サブまたはオフを選択する

連結モードでご使用になる場合は、「メイン」または「サブ」を選択してください。「スタックモード」ダイアログで、片方のプロジェクターが「メイン」に設定され、もう片方のプロジェクターが「サブ」に設定されると連結モードが始動します。連結モードを使用しないときは「オフ」を選択してください。

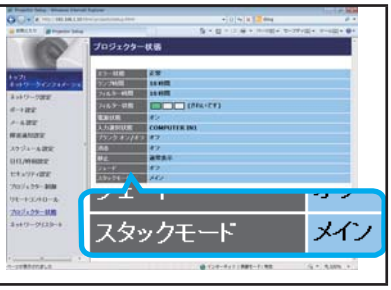
1．カーソルボタン▲ / ▼ で「スタック」メニューの「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。

2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「メイン」、「サブ」、または「オフ」を選択して下さい。
オフ : 連結モードを終了します。
メイン : プロジェクターをメイン機に設定します。
サブ : プロジェクターをサブ機に設定します。

3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

お知らせ

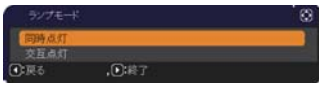
●「スタックモード」の設定は、Web コントロール画面 (📖3-35) からも確認できます。「プロジェクター Web コントロール」-「プロジェクター状態」を選択し、「スタックモード」を確認してください。本項目は、スタックモードが「メイン」または「サブ」に設定されている時だけ表示されます。



ランプモードを選択する

同時点灯モードまたは交互点灯モードを選択します。

1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「ランプモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「ランプモード」ダイアログが表示されます。



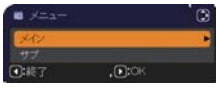
2．カーソルボタン▲ / ▼で「同時点灯」または「交互点灯」を選択してください。
同時点灯：２台のプロジェクターを同時にランプ点灯します。
交互点灯：２台のプロジェクターを交互にランプ点灯します。

3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

お知らせ

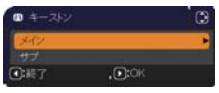
●「同時点灯」が選択された場合、プロジェクターの操作パネルまたはリモコンのボタンが押されると「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。以下の例のように操作したいプロジェクターを選択してください。
- **MENU** ボタンを押すと、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。「メイン」を選択すると、メイン機の「簡単メニュー」または「詳細メニュー」が表示されます。
- キーストン、フォーカス＋ / -、ズーム、ズーム＋ / -、レンズシフトボタンのどれかを押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の各メニューまたはダイアログが表示されます。
- **ENTER** ボタンを３秒押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の「ステータスモニター」を操作することができます。

●「ランプモード」で「同時点灯」が選択された場合、以下のように動作が変更されます。
- メイン機、サブ機共、オートパワーオフ機能と映像の静止機能が無効になります。
- ガンマ／色温度のカスタム調節テストパターンが表示されなくなります。
- ランプ点灯が完了するまでの所要時間が長くなります。
- 「同時点灯」が選択された場合、OSD が表示されている時に画面が暗くなることがあります。

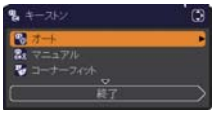


「メイン」および
「サブ」の選択画面

メイン機のメニュー画面



「メイン」および
「サブ」の選択画面



メイン機のメニュー画面

お知らせ

●「ランプモード」を「同時点灯」に設定するときは、メイン機とサブ機の画面を合わせるため、以下の通り設定を変更してください。
- 「初期画面」と「テンプレート」の設定を同じ設定にする。
- マイスクリーン (📖**2-21**) に同じ画面を登録する。
- 同じマイ イメージ (📖**3-47**)、および同じメッセンジャーテキスト (📖**3-49**) を登録する。

●「ランプモード」を「同時点灯」に設定するときは、画面の位置がずれて画質が劣化する場合があります。画面の位置を調節する前に、「設置」メニューの「設置方法」(📖**2-17**) を設定してください。

●「交互点灯」が選択された場合、ランプが点灯中のプロジェクターに何らかのエラーが発生し、ランプが消灯されたときに、自動的にもう片方のランプが点灯するようになります（フェールセーフ機能）。しかし、RS-232C ケーブルが接続されていない、または AC 電源が供給されていない場合は、もう片方のプロジェクターのランプは点灯されません。

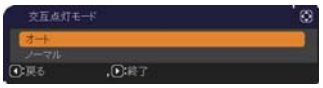
●2台のプロジェクターの「暗証コードロック」または「状態監視」が有効に設定されている場合、交互点灯が選択されていても、はじめは両方のプロジェクターのランプを点灯させます。両方のプロジェクターに正しい暗証コードを入力すると、片方のプロジェクターがランプ消灯し、1台だけ点灯した状態になります。

●連結モードでは、重ねて使用する場合にサブ機のインジケータが見えにくくなるため、メイン機のインジケータ表示が通常と異なる動作になります。メイン機とサブ機の両方がスタンバイ状態の場合、リモコンの **ON** ボタンまたはメイン機の **STANDBY/ON** ボタンが押されると、メイン機が「スタックモード」の設定によりどちらのプロジェクターを点灯させるかを決めます。
- メイン機の POWER インジケータが緑色に点滅してる間は、メイン機がどちらのプロジェクターを点灯させるか決めます。
- メイン機のランプを点灯させた場合、メイン機の POWER インジケータは通常状態であれば緑色に点灯したままです。
- サブ機のランプを点灯させた場合、メイン機の POWER インジケータは橙色に点灯します。
- メイン機でエラーが起きた場合には、サブ機のランプが点灯し、メイン機の POWER インジケータは赤色に点滅します。

交互点灯モードを選択する

「ランプモード」で「交互点灯」を選択した場合、「交互点灯モード」(📖2-34) の「オート」または「ノーマル」を選択してください。

1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「交互点灯モード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「交互点灯モード」ダイアログが表示されます。



2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「オート」または「ノーマル」を選択して下さい。
オート : ランプの使用時間 (📖2-27) が短い方を点灯させます。
ノーマル : 前回点灯していなかった方を点灯させます。

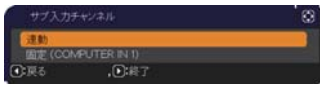
3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

お知らせ

- 「交互点灯モード」ダイアログは「ランプモード」ダイアログで「交互点灯」が選択されている場合にメイン機において操作することができます。
- 「オート」に設定しても、本機の画質や信頼性を維持するため、ランプ使用時間の長い方が点灯する場合があります。

サブ機の入力信号を選択する

1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「サブ入力チャンネル」ダイアログが表示されます。



2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「連動」または「固定（COMPUTER IN 1）」を選択して下さい。
連動 : メイン機と連動して、メイン機と同じ入力端子に切り替えます。
固定（COMPUTER IN 1）: **COMPUTER IN1** 端子からの入力に固定されます。**COMPUTER IN1** 端子には、メイン機の **MONITOR OUT** 端子からの入力を接続してください。

3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

お知らせ

- PbyP/PinP モード使用の場合、「サブチャネル入力」は「連動」に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1）」に設定すると、メイン機の、**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。連結モードで使用中は、リモコンの入力端子を切り替えるボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、映像入力信号を選択するダイアログが表示されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1）」に設定する場合は、メイン機の **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子に映像信号を入力し、メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子を接続してください。メイン機に入力された信号は、メイン機の **MONITOR OUT** 端子から出力され、サブ機の **COMPUTER IN1** 端子に入力されます。「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1）」に設定すると、メイン機での「モニターアウト」(🕮**2-18**) の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1）」に設定すると、メイン機の **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子（とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子）にビデオ信号を入力できるようになります。**COMPUTER IN1** ／ **2** 端子にビデオ信号を入力する場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(🕮**2-13**) および「COMPUTER- イン」(🕮**2-14**) でビデオ信号について設定してください。

連結モードのメニューを終了する

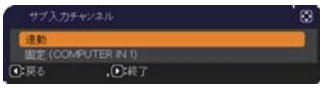
連結モードのメニュー操作を終了する前に、「スタック」メニューの全ての設定を確認して下さい。「スタック」メニュー内の各ダイアログは、カーソルボタン◀を押して「スタック」メニューへ戻ることができます。以下を参考に連結モードのメニュー操作を終了してください。

「スタック」メニュー

各設定を変更した後にカーソルボタン◀（「戻る」機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- ●カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- ●カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずに「通信設定」(📖2-32) へ戻ります。

「スタック」メニューより呼び出されたダイアログ



各設定を変更した後にカーソルボタン▶（終了機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- ●カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- ●カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずにダイアログを閉じます。

連結モードの重要なお知らせ

ここではメイン機およびサブ機を設定するにあたり、メニュー操作の説明以外の重要な情報を記載しています。よくお読みになり、連結モードをご使用ください。

●連結モードでご使用になるには、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方のプロジェクターをサブ機に設定する必要があります。
●連結モード設定が完了すると、サブ機は、操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外は直接操作できなくなります。サブ機の操作はメイン機の操作パネルを使用して行います。リモコンもメイン機に向けて操作してください。
●サブ機の操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンでは、メイン機、サブ機共点灯させることはできません。また、サブ機の操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンでランプを消灯させるには、3 秒以上押し続けてください。本操作により、メイン機、サブ機ともにランプを消灯します。
●メイン機はリモコンで操作することができますが、サブ機はリモコンで操作できないため、リモコンはメイン機に向けて操作してください。
●各ステータスモニターは、メイン機およびサブ機それぞれの操作パネルから操作することができます。点灯中プロジェクターのモニターのみ、リモコンで操作することもできます。
●簡易マウス／キーボード機能を使用する場合は、メイン機とサブ機両方の **USB TYPE B** 端子を、コンピュータの USB(A) 端子に接続してください。
●連結モードでご使用になる場合は、「オートサーチ」(🕮**2-25**) 機能は無効になります。
●サブ機をネットワークに接続しても、Web コントロールでサブ機の電源を入れることはできません。また、Web コントロールのリモートコントロール (🕮**3-34**) でサブ機は操作できません。
●メッセンジャー機能（🕮**3-49**）で、優先度の高いテキストデータを、強制的に電源を入れて表示しようとすると、連結モードが強制解除され、メッセンジャーテキストを表示します。もう一度連結モードに設定するには、「スタックモード」でメイン機を「メイン」に設定し直すか、いったん 2 台共電源を切って、電源を入れ直してください。
●連結モード設定が完了すると、以下の設定・操作が共通になります。
- AV ミュート機能、および画面の拡大機能
-「アスペクト」(🕮**2-9**)、「オーバースキャン」(🕮**2-9**)、「COMPUTER- イン」(🕮**2-14**)、「メッセージ」(🕮**2-22**)、「マイボタン」(🕮**2-28**)、「テンプレート」(🕮**2-23**)、「レンズシェード」(🕮**1-48**)、「シェードタイマー」(🕮**2-26**)、「2 画面表示 (PbyP/PinP)」(🕮**2-51**)

●連結モード設定が完了すると、以下の設定・操作が共通になります。
- 「オートキーストン（垂直）」(🕮**2-16, 25**)
- 「オートサーチ」(🕮**2-25**)
- 「オートパワーオフ」(🕮**2-26**)
- 「スタンバイモード」(🕮**2-17**)
- 「ダイレクトパワーオン」(🕮**2-26**)
- 「通信タイプ」(🕮**2-32**)
- 「チャンネルスキップ」（🕮**2-25**）

●連結モードでは、**LAN** 端子、**USB TYPE A** ／ **B** 端子からの映像信号を選択できません。
● PbyP/PinP モードを使用している場合、「サブ入力チャンネル」（🕮**2-34**）は「連動」に設定されます。

大きいダイアログ

小さい
ダイアログ

●連結モードで使用中に、何らかのエラーが起きると、アイコン付のメッセージが画面に表示されます。
このメッセージは、約 20 秒間何もボタン操作が無ければ、小さなアイコンダイアログに変化します。アイコンダイアログが表示されているときにカーソルボタン◀を押すと、元のメッセージダイアログが表示されます。
アイコンに添えられた番号、「1」はメイン機、「2」はサブ機を示します。
メッセージが表示されたら、次ページの表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	説　明
	ランプカバーがきちんと装着されていません。ランプカバーを装着し直してください。
	冷却ファンが動作していません。
	ランプが点灯しません。 ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
	本機内部が高温になっています。
	本機内部の温度が上がっています。 通風口の周囲に障害物がないか確認し、エアーフィルターをお手入れしてください
	本機の内部温度が低すぎます。
	エアーフィルターの使用時間が「フィルター掃除通知」（📖2-30）での通知設定時間を超えました。

●何らかの理由でプロジェクターの電源ケーブルを抜く、あるいはテーブルタップのスイッチなどで電源を切るときは、次に電源を入れたときに正しく連結モードで起動させるため、片方だけでなく、2 台両方の電源を切ってください。

●2 台のプロジェクターにセキュリティ（暗証コードロック機能 (📖2-47)、状態監視機能 (📖2-48)）が設定されている場合、2 台共電源が入ります。メイン機のパスワードまたは暗証コードを入力した後にサブ機のパスワードまたは暗証コードを入力してください。「交互点灯」モードが選択されている場合、片方のプロジェクターの電源が切れます。

●片方のプロジェクターにのみセキュリティ（暗証コードロック機能 (📖2-47)、状態監視機能 (📖2-48)）が設定されている場合、電源を入れた際に以下に従いパスワードまたは暗証コードを入力してください。
-「同時点灯」モードの場合、2 台共電源が入ります。セキュリティを設定しているプロジェクターのパスワードまたは暗証コード入力してください。
-「交互点灯」モードの場合、セキュリティを設定しているプロジェクターの電源が入るときは、1 台のみ電源が入り、パスワードまたは暗証コードを確認するダイアログが表示されます。セキュリティを設定していない方のプロジェクターの電源が入るときは、いったん2 台共電源が入り、パスワードまたは暗証コードを確認するダイアログが表示され、入力すると片方のみ電源が切れます。

ケーブルを接続する

2台のプロジェクターの画面を重ねるためには、メイン機とサブ機に同じ信号を入力する必要があります。ここでは信号の入力方法について説明します。必要に応じて方法を選択してください。

お知らせ

- 単体モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の設定がないため、以下ではメイン機を片方のプロジェクター、サブ機をもう片方のプロジェクターとしてお読みください。
- プロジェクターへのケーブルの接続については「他の機器と接続する」(🕮1-19 ～ 24) を、入出力端子の仕様については「入出力信号端子」(🕮4-4 ～ 9) をご参照ください。

RS-232C ケーブルを接続する

連結モードでご使用になる場合、2 台のプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C（クロス）ケーブルで接続してください。(🕮2-71) 単体モードでご使用の場合はこの接続は必要ありません。

お知らせ

- 連結モードで使用中にメイン機とサブ機を接続する RS-232C ケーブルが外れてしまうと、自動的に単体モードに切り替わります。再度連結モードに設定するには、ケーブルを外したまま 10 秒以上置いてから、いったん 2 台の電源を切って冷まし、再度 RS-232C ケーブルを接続して電源を入れてください。

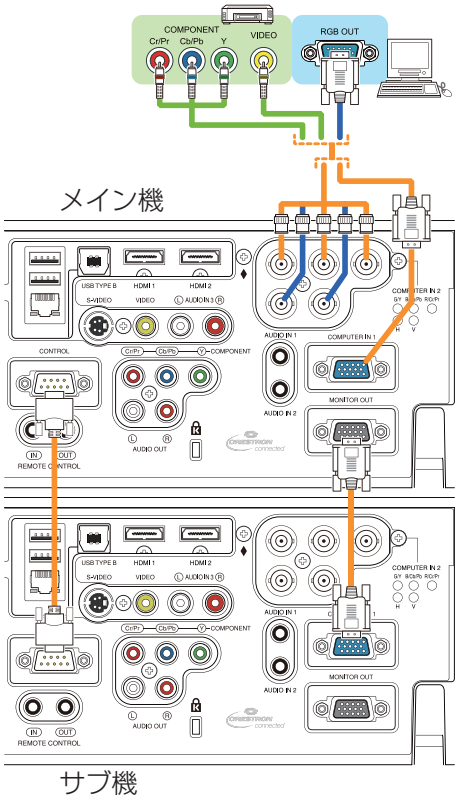
信号ケーブルを接続する

サブ機へ信号を入力するには、下記2つの方法があります。
- メイン機の **MONITOR OUT** 端子からサブ機へ信号を入力する。
- 2 台にそれぞれ同じ信号を入力する。

メイン機からサブ機へ信号を入力する

1. メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN1** 端子をケーブルで接続してください。

2. 映像信号を出力する外部機器をメイン機の入力端子のいずれかに接続してください。



連結モードの接続例

お知らせ **連結モードの場合**

●連結モードでは、メイン機の **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子のみ入力端子として使用できます。他の端子は映像信号入力端子としては使用できません。
- コンポーネントビデオ信号を **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子に入力することができます。
- ビデオ信号は、**COMPUTER IN 1** ／**2** の **Y** 端子に入力してください。

お知らせ **単体モードの場合**

● **MONITOR OUT** 端子からは **COMPUTER IN1** ／ **2** 端子から入力された映像信号のみ出力できます。他の入力端子を使用する場合は、2台のプロジェクターにそれぞれ映像信号を入力してください。

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 信号分配器などを使用して映像機器の出力信号を2つに分配してください。

2. 映像機器の出力をメイン機およびサブ機の同じ入力端子へ接続して下さい。

お知らせ **連結モードの場合**

●連結モードでは、**LAN** 端子、**USB TYPE A** ／ **B** 端子をメイン機の入力端子として使用することはできません。

お知らせ **単体モードの場合**

●全ての入力端子を使用することができます。

メニューを使って入力端子の設定をする

メニュー操作の準備

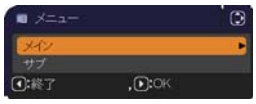
単体モードでご使用になる場合、リモコンの入力端子を選択するボタンまたは操作パネルの **INPUT** ボタンを押すと、ケーブルを接続する端子を選択することができます。モニターアウトの設定については「設置」メニューの「モニターアウト」(📖**2-18**) をご参照ください。
単体モードをご使用の場合の設定は終了です。
連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。メイン機は連結モードの入力設定に従って動作します。

メイン機の動作状態を確認する

連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。連結モードのメニューを操作する前に、メイン機が動作していることを確認してください。

1．リモコンの **MENU** ボタンを押してください。

2．右図のようなメニューダイアログが現れた場合は、2台のプロジェクターには「同時点灯」モードが設定されています。「メニューを設定する」(📖**2-89**) へ進んでください。
ダイアログが現れない場合、「ランプモード」は「交互点灯」に設定されており、メイン機またはサブ機のどちらかで動作しています。次へ進んでください。



3．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖**2-33,34**)「スタック」メニューが表示されます。

4．「スタック」メニューで「スタックモード」の設定を確認して下さい。
-「メイン」が表示されれば、メイン機として動作しています。「メニューを設定する」(📖**2-89**) へ進んでください。
-「サブ」が表示されれば、メイン機は電源が切れており、サブ機が動作しています。「メイン機の電源を入れる」(📖**2-88**) へ進んでください。

メイン機の電源を入れる

前頁の「メイン機の動作状態を確認する」を行った結果、２台のプロジェクターは「交互点灯」モードに設定されており、サブ機が動作している事が確認されました。連結モードの設定はメイン機が動作している場合でなければ変更できないため、ここではサブ機からメイン機への切り替え方法について説明します。

１．カーソルボタン ▲/▼/◀/▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖**2-33,34**)
「スタック」メニューが表示されます。

２．「交互点灯モード」の設定を確認します。
「ノーマル」が表示された場合は、２台のプロジェクターは交互にランプを点灯させる動作になっています。１度電源を落とし、再度電源を入れると、次はメイン機のランプが点灯します。
(1) リモコンの **STANDBY** ボタンかメイン機の **STANDBY/ON** ボタンを押すと、サブ機の電源が切れます。
(2) プロジェクターが冷えたら、再度電源を入れるために **ON または STANDBY/ON** ボタンを押してください。メイン機の電源が入ります。

「オート」が表示された場合は、ランプの使用時間が短い方のプロジェクターの電源が入ります。(📖**2-27**) そのため、メイン機の電源が入らない可能性があります。メイン機の電源を入れるためには以下を行ってください。
(1) カーソルボタン▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
(2) カーソルボタン▲ / ▼で「オフ」を選択し、カーソルボタン ▶を押して設定を終了してください。
(3) 上記手順を繰り返し、再度「スタックモード」ダイアログを表示してください。
(4) カーソルボタン▲ / ▼で「サブ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。
(5) メニュー終了後、１０秒以上お待ちください。
(6) リモコンの **STANDBY** ボタンかメイン機の **STANDBY/ON** ボタンを押すと、サブ機の電源が切れます。
(7) プロジェクターが冷えたら、再度電源を入れるために **ON または STANDBY/ON** ボタンを押してください。「ランプモード」が「オート」に設定されている場合でも、メイン機の電源が入ります。

３．メイン機が動作しているため、連結モードの設定を変更することができます。「メニューを設定する」(📖**2-89**) へ進んでください。

お知らせ

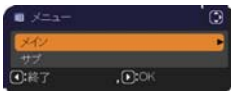
●何らかのエラーが原因でメイン機の電源が入らない場合、上記の手順を行った場合でもサブ機の電源が入ることがあります。メイン機のエラーを解決した後、連結モードの設定を変更してください。

メニューを設定する

連結モードでご使用になる場合は、以下をお読みください。
メイン機を経由してサブ機へ映像信号を入力する場合、コンピューター信号とビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）の場合で操作が異なります。

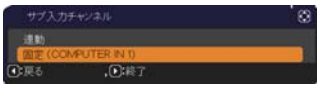
メイン機からサブ機へ映像信号を入力する - コンピューター信号

1．「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。



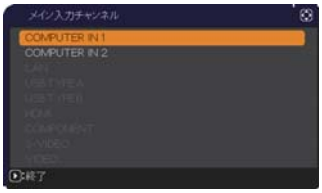
2．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖**2-33,34**)
「スタック」メニューが表示されます。

3．カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。



4．カーソルボタン▲ / ▼で「固定（COMPUTER IN 1 ）」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。

5．リモコンの入力端子を選択するボタンか、またはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。



お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1 ）」に設定すると、「モニターアウト」(📖**2-18**) の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1 ）」に設定すると、**COMPUTER IN1** ／ **IN2** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN 1 ）」に設定すると、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンが押された場合、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する
- ビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）

1．「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「COMPUTER- イン」(🕮**2-14**) ダイアログを表示させてください。

3．**COMPUTER IN1** ／ **IN2** 端子へコンポーネントビデオ信号を入力する場合は、「オート」に設定してください。その後で、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。**COMPUTER IN1** ／ **IN2** 端子へビデオ信号を入力する場合は、「VIDEO」に設定してください。ビデオフォーマットを設定する必要がある場合は、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀を押して「入力」メニューを表示させてください。ビデオフォーマットを設定する必要がなければ、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶を押して設定を終了させてください。

4．「入力」メニューの「ビデオフォーマット」を選択するため、「ビデオフォーマット」ダイアログを表示させてください。
「オート」または入力するビデオ信号に適切なフォーマットを選択してください。
その後、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

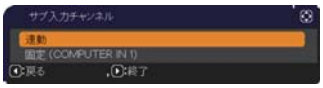
メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1．「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

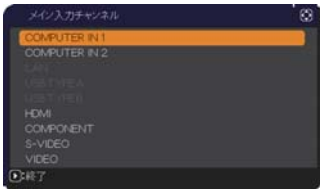
2．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」(📖2-33,34)「スタック」メニューが表示されます。

3．カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。

4．カーソルボタン▲ / ▼で「連動」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。



5．リモコンの入力端子を選択するボタンまたはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。



お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、メイン機またはサブ機の入力端子はもう片方のプロジェクターと同じ端子に自動的に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、**LAN** 端子、**USB TYPE A** ／ **B** 端子は選択できません。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンが押されると、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

スケジュール機能の制限について

連結モードで使用中は、以下のように Web コントロールで登録、実行するスケジュール機能が、一部制限を受けます。コマンドの内容については、「スケジュール設定」(🕮**3-24, 25**) をご参照ください。単体モードの場合、制限はありません。
連結モードおよび単体モードのどちらをご使用の場合でも、使用前にスケジュール設定をご確認ください。スタック機能を使用することで設定が変更されていることがあります。
連結モードに関する制限については下表をご覧ください。単体モードをご使用の場合は、本章を読んで頂く必要はありません。

メイン機の制限

機能			ランプモード			
			同時点灯	交互点灯		同時点灯／交互点灯
	電源状態	メイン機	オン	オン	オフ	オフ
		サブ機	オン	オフ	オン	オフ
電源　オン			✔	✔	✔	✔
電源　オフ			✔	✔	✔	✔
入力ソース			✔ *1)	✔ *1)	✔ *1)	✔ *1)
マイ イメージ			✔	✔	**X** *2)	**X** *2)
メッセンジャー			✔	✔	**X** *2)	**X** *2)
スライドショー			**X** *3)	**X** *3)	**X** *3)	**X** *3)

サブ機の制限

機能			ランプモード			
			同時点灯	交互点灯		同時点灯／交互点灯
	電源状態	メイン機	オン	オン	オフ	オフ
		サブ機	オン	オフ	オン	オフ
電源　オン			**X** *3	**X** *3	**X** *3	**X** *3
電源　オフ			✔	✔	✔	✔
入力ソース			✔ *1)	✔ *1)	✔ *1)	✔ *1)
マイ イメージ			✔	**X** *2)	✔	**X** *2)
メッセンジャー			✔	**X** *2)	✔	**X** *2)
スライドショー			**X** *3)	**X** *3)	**X** *3)	**X** *3)

✔: 連結モード動作中でも Web コントロールで登録、実行することができます。

✔ *1): 連結モード動作中でも Web コントロールで登録することができます。スケジュール機能によって切り替える端子が選択可能であれば、スケジュールは実行されます。選択不可である場合はスケジュールは実行されません。
(「サブ入力チャンネル」(🕮**2-34**) を「連動」に設定している場合は、**COMPUTERIN1** ／ **IN2** 端子、**HDMI** 端子、**COMPONENT** 端子、**S-VIDEO** 端子と **VIDEO** 端子、「固定」に設定している場合は、**COMPUTERIN1** ／ **IN2** 端子のみ選択可能です。)

X *2): 連結モード動作中でも、Web コントロールでの登録はできますが、実行はできません。

X *3): 連結モード動作中は、登録も実行もできません。

お知らせ

- スケジュールが実行できなかった場合は、エラーの自動通知が設定されていれば、スケジュール実行エラーが通知されます (📖3-22)。
- メイン機かサブ機で電源オフのコマンドが実行されると、2 台共の電源が切れます。
- メイン機で電源オンのコマンドが実行されると、「ランプモード」(📖2-34) の設定に従って 2 台とも、あるいはどちらかのみの電源が入ります。
- 「同時点灯」モードで使用中、どちらかのプロジェクターのメニュー画面を表示していると、もう片方のプロジェクターでは、マイ イメージ、およびメッセンジャーのコマンドは実行されません。
- 表中の「電源オフ」は、連結モードの設定に従って、リモコンの **STANDBY** ボタンまたはメイン機の **STANDBY/ON** ボタンを押したときにランプを消灯してスタンバイ状態になることを示します。
- 連結モードではサブ機のスケジュール機能を使って電源オンすることはできません。必要であればメイン機のスケジュールに電源オンのイベントを登録してください。
- 「交互点灯モード」でサブ機の電源が切れている間に、サブ機の電源オフのコマンドが実行されても、スケジュール実行エラーは発生しません。

故障かなと思ったら

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。
処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口 (🕮 **巻末**) にご相談ください。

故障と間違いやすい現象

現象	確認内容	参照頁
連結モードが正しく動作しない	**メイン機およびサブ機の電源コードは正しく接続されていますか？** 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の両方に電源を供給する必要があります。どちらか片方にしか電源が供給されていない場合、連結モードは動作しません。	🕮1-26
	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機を RS-232C クロスケーブルで接続する必要があります。RS-232C ケーブルが接続されていない場合、メイン機はサブ機を制御できません。	🕮2-71
	連結モードのメニュー設定は正しくされていますか？ メイン機とサブ機の「スタック」メニューの設定を確認してください。 連結モードでご使用になる場合、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方をサブ機に設定する必要があります。	🕮2-77
	信号ケーブルが正しく接続されていますか？ ケーブルの接続、およびメニューの端子設定が正しくされているかを確認してください。	🕮2-85 ～ 91 🕮1-19 ～ 24
メイン機とサブ機が同時に動作しない	**メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？** RS-232C ケーブルを正しく接続し、メイン機の電源を再度入れてください。	🕮2-71
「スタック」メニューが選択できない	**メイン機およびサブ機に連結モードの設定はされていますか？** メイン機およびサブ機において、以下の設定を確認してください。 -「設置」メニューの「スタンバイモード」(🕮**2-17**) を「通常」に設定する。 -「 その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」(🕮**2-32**) を「オフ」に設定する。 -「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(🕮**2-50**) を「オフ」に設定する。	🕮2-70 ～ 72
リモコンを使ってプロジェクターを操作できない	**サブ機に向けてリモコン操作をしていませんか？** 連結モードでは、メイン機のみリモコン信号受信が可能です。リモコンを使用する場合はメイン機に向けて使用してください。	🕮2-68
2台のプロジェクターの画像のフォーカス（焦点）が合わない、またはうまく重ならない	**2台のプロジェクターの画像が正しく重なっていません。** 画面のサイズ（ズーム）とフォーカス、画面の位置（レンズシフト）を調節してください。 必要であれば「コーナーフィット」および「キーストン」を調節してください。	🕮2-70 ～ 72 🕮2-74, 75
微調整をしても2台のプロジェクターからの画像が重ならない	**2 台の画像の調節で異なっている点はありませんか？** 問題解決のために以下の方法を試してみてください。 - リモコンの **AUTO** ボタンを押すか、それぞれのプロジェクターで「オートアジャスト実行」を行い、画面の自動調整をしてください。 - それぞれのプロジェクターの「垂直位置」および「水平位置」を調節してください。. -「入力」メニューの「解像度」を確認し、メイン機とサブ機で異なっている場合は同じ設定にしてください。	🕮2-11 🕮2-10 🕮2-15